MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン（R410A対応）

# 取扱説明書

## 設備用インバーターエアコン

### 空冷ヒートポンプ形

標準タイプ
〈天吊形〉

| | |
|---|---|
| PCHV-P140DM-E | PCHV-P140VCM-E1 |
| PCHV-P224DM-E | PCHV-P224VCM-E1 |
| PCHVX-P224DM-E | PCHVX-P224VCM-E1 |
| PCHV-P280DM-E | PCHV-P280VCM-E1 |
| PCHVX-P280DM-E | PCHVX-P280VCM-E1 |
| PCHVX-P450DM-E | PCHVX-P450VCM-E1 |
| PCHVD-P450DM-E | PCHVD-P450VCM-E1 |
| PCHVX-P560DM-E | PCHVX-P560VCM-E1 |
| PCHVD-P560DM-E | PCHVD-P560VCM-E1 |
| PCHVT-P560DM-E | PCHVT-P560VCM-E1 |

もくじ



省エネで　守る環境　豊かな暮らし

**このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。**

- ●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- ●お読みになったあとは、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- ●お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
- ●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

WT06617X02

# 安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）

（接触禁止）

（水ぬれ禁止）

（ぬれ手禁止）

（一般注意）

（破裂注意）

（感電注意）

（高温注意）

（回転物注意）

（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 一般事項

### ⚠警告

**当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。**

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

禁止

**吹出し風を身体に直接当てないこと。**

- 吹出し風を身体に直接当てた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

使用禁止

**冷やし過ぎないこと。**

- 冷やし過ぎた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

使用禁止

**特殊環境では、使用しないこと。**

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

**吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。**

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

使用禁止

**安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。**

- 圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

変更禁止

**ユニットを水・液体で洗わないこと。**

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

**電気部品に水をかけないこと。**

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

**ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。**

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

**フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。**

- 落下・転倒し、けがのおそれあり。

**アルコール消毒した場合、周囲に充満するアルコールガスを換気して取り除くこと。**

- ガスを取り除かずに電源を入れた場合、引火・爆発するおそれあり。
  （本製品は防爆仕様ではありません）

**掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。**

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

**運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。**

- 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

**据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。（子どもを近づけないこと）**

- 工具などが落下した場合、けがのおそれあり。

**換気をよくすること。**

- 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

**換気をよくすること。**

- 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

**ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。**

- 指定容量外のヒューズ・針金・銅線を使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

**異常時（こげ臭いなど）や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。**

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

**端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。**

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

**基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。**

- ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

**ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。**

- ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

## ⚠ 注意

**製品の近くに可燃物を置かないこと。また、可燃性スプレーを使用しないこと。**

- 引火・火災・爆発のおそれあり。

**殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。**

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

**パネルやガードを外したまま運転しないこと。**

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

使用禁止

**フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。**

- フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。

**フィルターの清掃・交換などの作業時はチェーンを離さないこと。**

- フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。

**ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。**

- ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。

**食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。**

- 保存品が品質低下するおそれあり。

**吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。**

- 悪影響のおそれあり。

**運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。**

- 運転停止から５分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

**ぬれて困るものを下に置かないこと。**

- ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。

据付禁止

**部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。**

- けがのおそれあり。

接触禁止

**水の入った容器を製品などの上に載せないこと。**

- 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

**フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。**

- ホコリが目に入り、けがのおそれあり。

ホコリ注意

**保護具を身に付けて操作すること。**

- 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。

感電注意

**保護具を身に付けて作業すること。**

- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

けが注意

**空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。**

- ファンによるけがのおそれあり。

回転物注意

**保護具を身につけて作業すること。**

- 保護具を付けないとけがのおそれあり。

指示を実行

**フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。**

- けがのおそれあり。

指示を実行

**販売店または専門業者が定期的に点検すること。**

- ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- においが発生するおそれあり。

指示を実行

## 配管工事をするときに

### ⚠警告

**サービスバルブを操作する場合、冷媒噴出に注意すること。**

- 冷媒が漏れた場合、冷媒を浴びると、凍傷・けがのおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

冷媒注意

## 移設・修理をするときに

### ⚠警告

**改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。**

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

**分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。**

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

指示を実行

## ⚠注意

**基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させたりしないこと。**

- ショート・感電・故障・火災のおそれあり。

## お願い

**据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。**

- 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

**運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。**

- シーズン中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

**ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。**

- 法律（フロン回収・破壊法）によって罰せられます。

**ユニットの使用範囲を守ってください。**

- 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

**吹出口・吸込口を塞がないでください。**

- 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

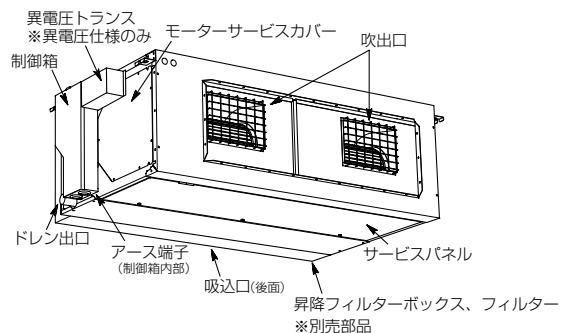
**エアフィルターを外した状態で運転しないでください。**

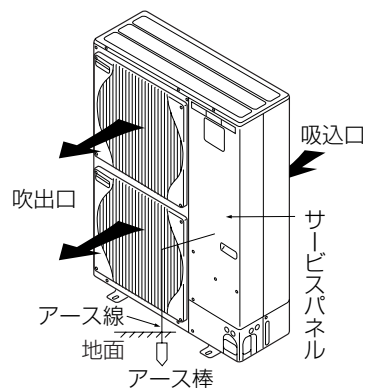
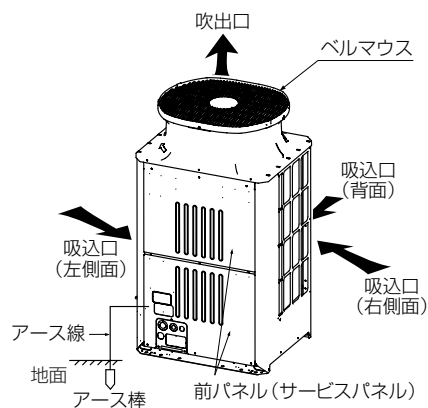
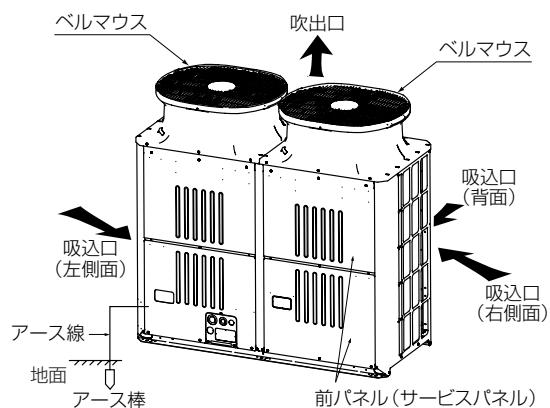
- ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

# 各部の名称とはたらき

## 本体部分

### 室内ユニット

PCAV-P112(V)DM-E, PCAV-P140(V)DM-E
PCAV-P224(V)DM-E, PCAV-P280(V)DM-E

### 室外ユニット

PUHV-P140DM-E(-BS, BSG)
PUHV-P140VCM-E1

PUHV-P224DM-E,VCM-E1(-BS, BSG)
PUHV-P280DM-E,VCM-E1(-BS, BSG)

PUHV-P450DM-E,VCM-E1(-BS, BSG)
PUHV-P560DM-E,VCM-E1(-BS, BSG)

※異電圧タイプはベルマウスの形状が若干異なります。

# 操作部（MAリモコン）

## 操作部

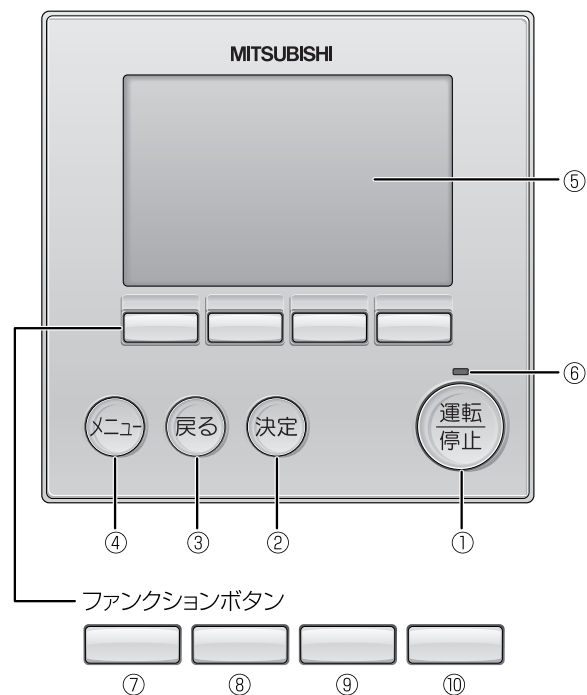
MITSUBISHI

⑤ ⑥

メニュー 戻る 決定 運転 停止

④ ③ ② ①

ファンクションボタン

⑦ ⑧ ⑨ ⑩

### ① 運転 / 停止 ボタン

1 度押すと運転し、もう 1 度押すと停止します。

### ② 決定 ボタン

設定の決定をします。

### ③ 戻る ボタン

前の画面に戻ります。

### ④ メニュー ボタン 12 ページ

メインメニューを表示します。

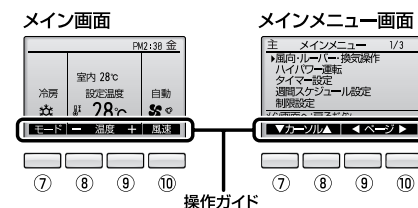
### ⑤液晶表示部（バックライト付）

運転内容を表示します。
バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

> バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。
> バックライトのみ点灯します。
> （運転 / 停止 ボタンは除く）

### ⑥運転ランプ

運転中、緑色に点灯します。
立上げ時・異常時は点滅します。

**ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。**
**液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。**
**集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。**

### ⑦ファンクションボタン F1

メイン画面：運転モードを切換えます。
メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。

### ⑧ファンクションボタン F2

メイン画面：設定温度を下げます。
メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。

### ⑨ファンクションボタン F3

メイン画面：設定温度を上げます。
メインメニュー画面：前のページを表示します。

### ⑩ファンクションボタン F4

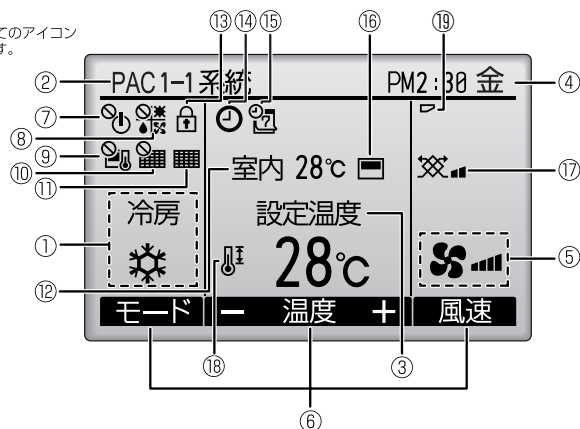
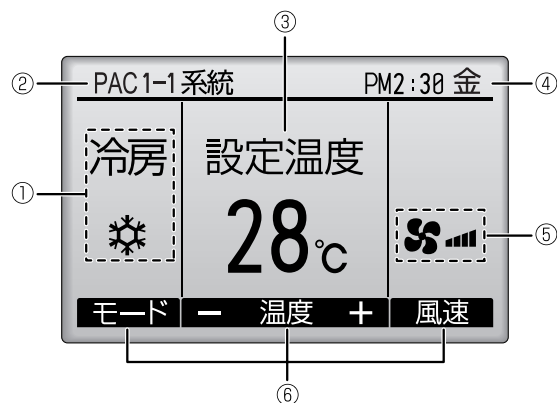
メイン画面：風速を切換えます。
メインメニュー画面：次のページを表示します。

# 操作部（MAリモコン）

## 表示部

メイン画面の表示には、「詳細」と「簡易」の２種類があります。
出荷時は詳細表示となっています。
簡易画面への切換えは「メイン画面表示設定」で変更します。（23ページ参照）

### 詳細画面

※説明のためすべてのアイコンを表示しています。

### 簡易画面

**①運転モード表示** 10ページ

運転中の状態を表示します。

**②リモコン名表示**

リモコンの名前を表示します。
（異常猶予中は４桁のコードを表示します）

**③設定温度表示** 10ページ

設定温度を表示します。

**④時刻表示**

現在の時刻を表示します。

**⑤風速表示**

風速の状態を表示します。

**⑥操作ガイド**

ファンクションボタンの機能名を表示します。

**⑦ 表示**

発停操作が集中管理中の時に表示します。

**⑧ 表示**

運転モード操作が集中管理中の時に表示します。

**⑨ 表示**

設定温度操作が集中管理中の時に表示します。

**⑩ 表示**

フィルターリセット操作が集中管理中の時に表示します。

**⑪ 表示** 21ページ

フィルターのお手入れ・ダストボックスごみ捨て時期になると表示します。

清掃中の時は を表示します。

**⑫室内温度表示**

現在の室内温度を表示します。

**⑬ 表示** 19ページ

操作ロック設定が有効の時に表示します。

**⑭ 表示** 15ページ

オン / オフタイマー設定が有効の時に表示します。

**⑮ 表示** 17ページ

週間スケジュールタイマー設定が有効の時に表示します。

**⑯ 表示**

⑫の室内温度を検知するセンサー位置がリモコンの時に表示します。

室内ユニットの時は を表示します。

**⑰ 表示** 13ページ

換気の状態を表示します。

**⑱ 表示** 18ページ

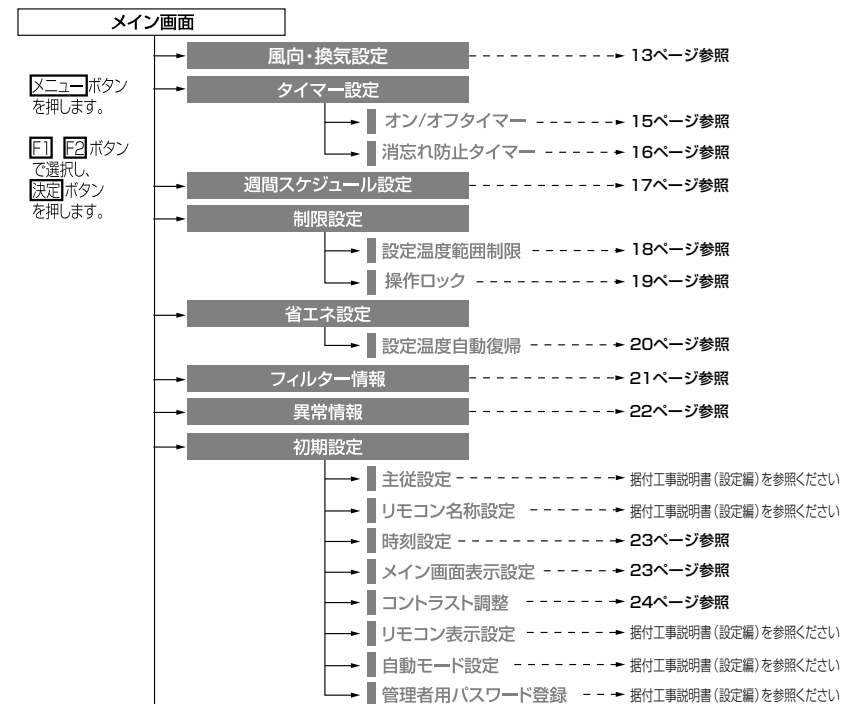
設定温度範囲制限設定が有効の時に表示します。

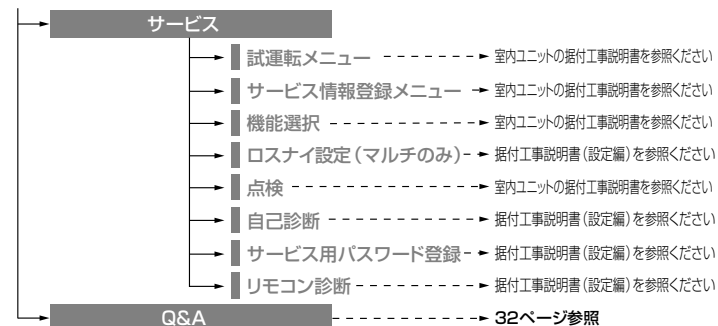
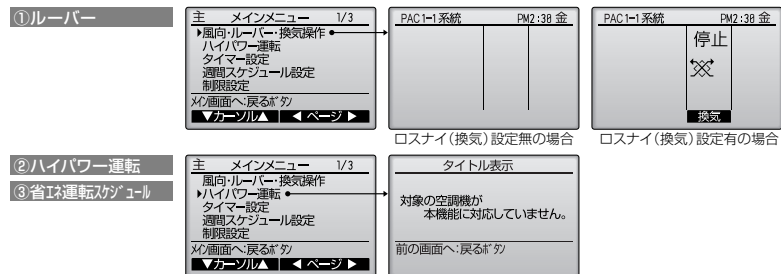
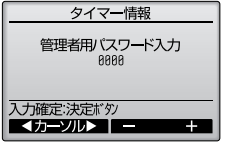
**⑲ 表示** 13ページ

風向の状態を表示します。

基本運転（運転 / 停止、運転モード切換、風速切換、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。（12ページ）

# 操作部（MAリモコン）

## 画面の流れ

**注意** 下記①〜③の機能はリモコン上では表示されますが、ご使用頂くことはできませんのでご注意ください。
リモコンで選択しますと下記の画面が表示されます。

ロスナイ（換気）設定無の場合　ロスナイ（換気）設定有の場合

室内ユニットの機種により、設定できない項目があります。

## 取扱説明書内のアイコンの説明

# 使用方法 - 基本操作

## 運転・停止

操作方法

運転

運転／停止 ボタンを押します。
運転ランプ（緑）が点灯し、運転を開始します。

停止

もう一度 運転／停止 ボタンを押します。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。



### 再運転内容

| | リモコン設定内容 |
|---|---|
| 運転モード | 前回運転モード |
| 温度設定 | 前回設定温度 |
| 風速 | 前回設定風速 |

### 設定温度範囲

| 運転モード | 設定温度範囲 |
|---|---|
| 冷房 | 14～30℃ |
| 暖房 | 17～28℃ |
| 自動 | 17～28℃ |
| 送風･換気 | 設定できません。 |

上表は中温機種の設定範囲になります。
室内ユニット機種（標準・中温・低温機種など）により設定可能な温度範囲が異なります。

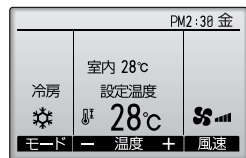
## 運転モード・温度設定

操作方法

運転モード

F1 ボタンを押すごとに
「冷房」「送風」「自動」「暖房」
の順に変わります。
ご希望の運転に切換えます。

 冷房  送風  自動

 暖房

■室内ユニットの組み合せによって設定できない運転モードは表示されません。

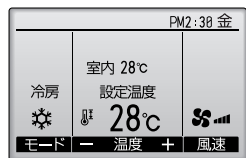
**モード表示が点滅する場合**

室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。
他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。

**自動モード対応機種**

| | |
|---|---|
| ･PCHV-P140DM-E | PCHV-P140VCM-E1 |
| ･PCHV-P224DM-E | PCHV-P224VCM-E1 |
| ･PCHV-P280DM-E | PCHV-P280VCM-E1 |

※詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

温度設定

設定温度は F2 ボタンを押すごとに 1℃ずつ下がり、F3 ボタンを押すごとに 1℃ずつ上がります。

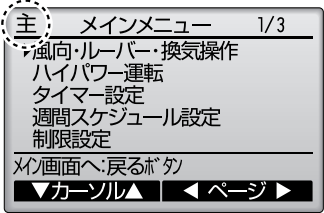
■設定可能範囲は設定温度範囲（左記）を参照ください。
■送風・換気運転の場合は設定できません。

# 使用方法 - メニュー操作

## メインメニュー一覧

| 設定および表示項目 | | 詳細内容 | 参照ページ |
| --- | --- | --- | --- |
| 風向・換気設定 | | 風向：風向を設定します。<br>■風向固定位置を4段階で設定します。<br>換気:換気量を設定します。<br>■「停止」「弱」「強」から設定します。 | 13ページ |
| タイマー設定 | オン/オフタイマー | 運転開始時刻と停止時刻を設定します。<br>■設定時刻は5分単位で設定可能です。<br>※時刻設定が必要です。 | 15ページ |
| | 消忘れ防止タイマー | 運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。<br>■設定時間は10分単位で30〜240分まで選択可能です。 | 16ページ |
| 週間スケジュール設定 | | 1週間の運転開始時刻と停止時刻を設定します。<br>■1日最大8パターンまで設定可能です。<br>※時刻設定が必要です。<br>※オン/オフタイマー有効中は動作しません | 17ページ |
| 制限設定 | 設定温度範囲制限 | 設定温度の範囲を制限します。<br>■運転モードによる温度範囲の制限が可能です。 | 18ページ |
| | 操作ロック | 指定した操作をロックします。<br>■操作ロック中は指定した操作が無効となります。 | 19ページ |
| 省エネ設定 | 設定温度自動復帰 | 設定時間後に設定した温度に戻ります。<br>■設定時間は10分単位で30〜120分まで選択可能です。<br>※設定温度範囲制限が有効の時は機能しません。 | 20ページ |

| 設定および表示項目 | | 詳細内容 | 参照ページ |
| --- | --- | --- | --- |
| フィルター情報 | | フィルターサイン発生状況を表示します。<br>■フィルターサインの解除を行います。 | 21ページ |
| 異常情報 | | ユニットに異常が発生した時、異常内容を表示します。<br>■異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、製造番号、連絡先情報(販売店名、サービス店名、電話番号)を表示します。<br>※形名以降はあらかじめ入力が必要です。<br>■携帯電話点検コード検索サービスサイトのURLとQRコードを表示します。 | 22ページ |
| 初期設定 | 時刻設定 | 現在の時刻を設定します。 | 23ページ |
| | メイン画面表示設定 | メイン画面の詳細表示と簡易表示の切換えを行います。<br>■デフォルト:詳細表示 | 23ページ |
| | コントラスト調整 | 液晶の濃度の調整を行います。 | 24ページ |
| Q&A | | 代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。 | 32ページ |

## 従リモコンの制約事項

従リモコンでは以下の設定ができません。
主リモコンにて設定してください。
主リモコンの場合、メインメニューのタイトル欄に「主」表示があります。

■タイマー設定
(オン / オフタイマー、消忘れ防止タイマー)
■週間スケジュール設定
■省エネ設定
(設定温度自動復帰)
※ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。
(P9参照)

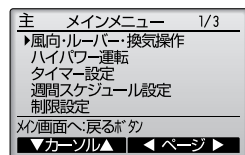
# 使用方法 - メニュー操作

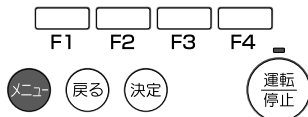
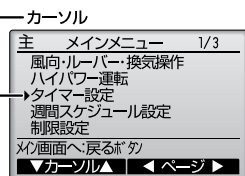
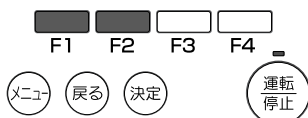
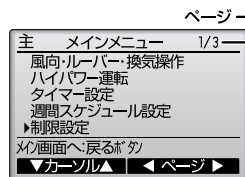
## メインメニュー画面での操作のしかた

操作方法

### 画面表示

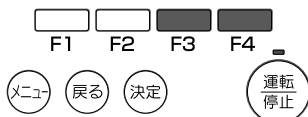
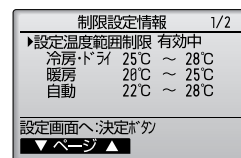
主　メインメニュー　1/3
▶風向・ルーバー・換気操作
ハイパワー運転
タイマー設定
週間スケジュール設定
制限設定
メイン画面へ:戻るボタン
▼カーソル▲　◀ページ▶

F1　F2　F3　F4
メニュー　戻る　決定　運転停止

メニューボタンを押します。

メインメニュー画面が表示されます。

### 項目選択

F1ボタンでカーソルが下がります。
F2ボタンでカーソルが上がります。

### ページ移動

F3ボタンで前のページを表示します。
F4ボタンで次のページを表示します。

[注意]
・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P9参照）

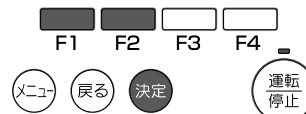
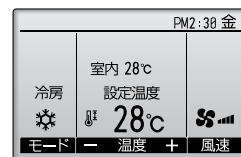
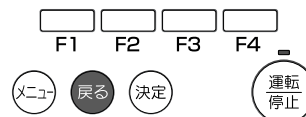
### 決定

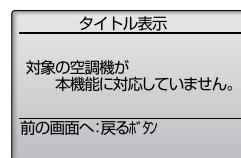
F1　F2　F3　F4
メニュー　戻る　決定　運転停止

ご希望の項目を選択し、決定ボタンを押します。

選択した設定画面が表示されます。

[ 注意 ]
・ドライモードは設定できません。（P10 参照）

### 戻る

F1　F2　F3　F4
メニュー　戻る　決定　運転停止

メインメニュー画面からメイン画面に戻るには戻るボタンを押します。

**各項目の設定途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動でメイン画面に戻ります。**
**このとき設定途中の内容は無効となります。**

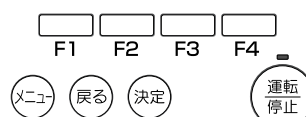
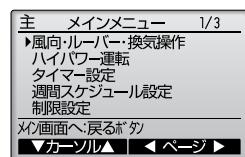
F1　F2　F3　F4
メニュー　戻る　決定　運転停止

メニュー項目の選択操作を行った時、対象の室内ユニットが機能に対応していない場合、左記メッセージ画面を表示します。

# 使用方法 - 各種設定操作

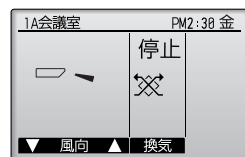
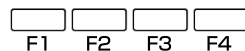
## 風向・換気設定

操作方法

### 画面表示

主　メインメニュー　1/3
▸風向・ルーバー・換気操作
ハイパワー運転
タイマー設定
週間スケジュール設定
制限設定
メイン画面へ:戻るボタン
▼カーソル▲　◀ ページ ▶

メインメニュー画面（12ページ参照）で「風向・ルーバー・換気操作」を選択し、決定ボタンを押します。

[注意]
・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P9参照）

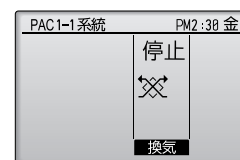
### 風向

F1 F2ボタンを押すごとに
「設定1」「設定2」「設定3」「設定4」の順に変わります。
ご希望の設定に切換えます。

| 表　示 | 設定1 | 設定2 | 設定3 | 設定4 |
|---|---|---|---|---|
| 運転モードを変更したときの上下風向設定 | 冷房<br>送風運転 | — | — | 暖房運転 |

選択したポジションでベーンが固定されます。

**お知らせ**　このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
1.“暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
2.　暖房運転直後（モード切換待機中）
3.　暖房モードで設定温度より室温が高いとき

**お願い**　ルーバーに外力を加えたり、ルーバーを手で動かすと故障の原因となります。
取扱いにご注意ください。

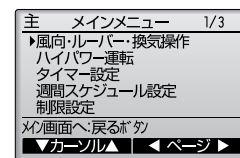
### 換気

F3ボタンを押すごとに「停止」「弱」「強」の順に変わります。

※換気設定時のみ変更できます

弱　弱

強

■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

### 戻る

メインメニュー画面へ戻るには戻るボタンを押します。

[注意]
・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P9参照）

# 使用方法 - 各種設定操作

## 時刻設定

操作方法

1

メインメニュー画面（12ページ参照）で「初期設定」を選択し、決定ボタンを押します。

**以下の設定には時刻設定が必要です。**
- ■オン / オフタイマー設定
- ■週間スケジュール設定
- ■省エネ運転スケジュール

2

F1 F2 ボタンで「時刻設定」を選択し 決定 ボタンを押します。

3

F1 F2 F3 F4

F1 F2 ボタンで「年」「月」「日」「時」「分」のうち、変更したい項目を選択します。

F3 F4 ボタンで現在の日時に変更し、決定 ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

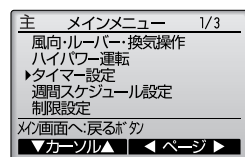
**画面移動方法**
- ■メインメニュー画面へ戻る・・・メニュー ボタン
- ■前の画面に戻る・・・戻る ボタン

# 使用方法 - 各種設定操作

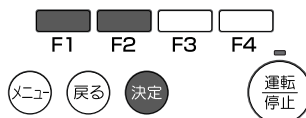
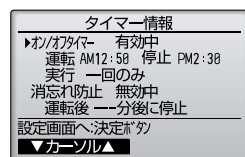
## タイマー設定

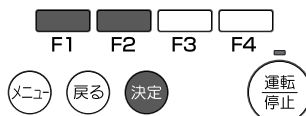
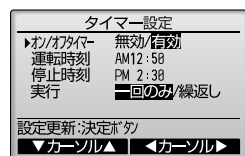
### オン / オフタイマーの設定方法

操作方法

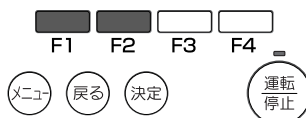
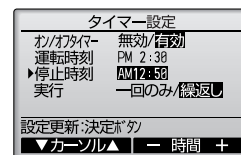
1

メインメニュー画面（12ページ参照）で「タイマー設定」を選択し、決定 ボタンを押します。

[注意]
・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P9参照）

> **以下の場合、オン / オフタイマー設定は実行されません。**
> オン / オフタイマー無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（運転 / 停止が禁止の場合）

2

現在の設定状況が表示されます。

タイマー情報画面で「オン / オフタイマー」を選択し、決定 ボタンを押します。

3

タイマー設定画面が表示されます。

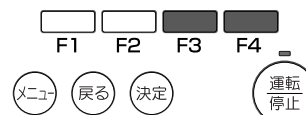
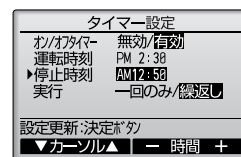
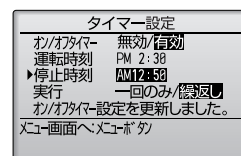
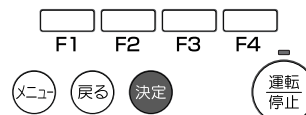
F1 F2 ボタンで「オン / オフタイマー」「運転時刻」「停止時刻」「実行」のうち、変更したい項目を選択します。

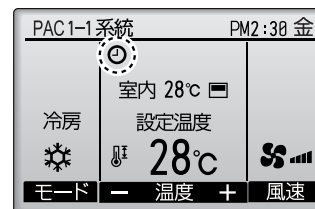
4

F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えます。

■オン / オフタイマー 「無効」「有効」
■運転時刻 5 分単位で設定
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
■停止時刻 5 分単位で設定
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
■実行 「一回のみ」「繰返し」

5

ご希望の設定に切換えた後、決定 ボタンを押します。

タイマー設定
ｵﾝ/ｵﾌﾀｲﾏｰ 無効/有効
運転時刻 PM 2:30
停止時刻 AM12:50
実行 一回のみ/繰返し
ｵﾝ/ｵﾌﾀｲﾏｰ設定を更新しました。
ﾒﾆｭｰ画面へ:ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ

設定確定画面が表示されます。

> **画面移動方法**
> ■メインメニュー画面へ戻る・・・メニュー ボタン
> ■前の画面に戻る・・・戻る ボタン

オン / オフタイマー設定が有効の時、詳細メイン画面に「◷」が表示されます。

# 使用方法 - 各種設定操作

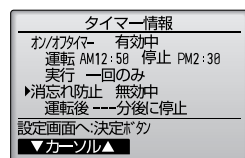
## タイマー設定

### 消忘れ防止タイマーの設定方法

操作方法

**1**

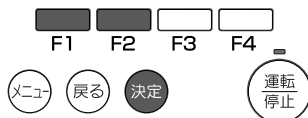
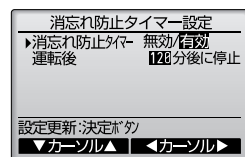
F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転停止

タイマー設定画面を表示します。
（15ページ参照）

タイマー設定画面で「消忘れ防止」を選択し、決定ボタンを押します。

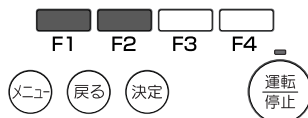
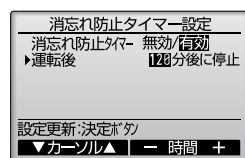
> **以下の場合、消忘れ防止タイマー運転は実行されません。**
> 消忘れ防止タイマー無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（運転 / 停止が禁止の場合）

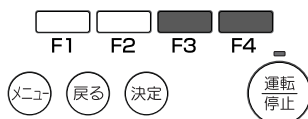
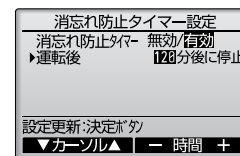
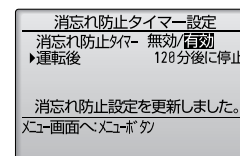
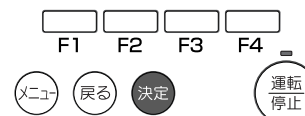
**2**

決定

現在の設定状況が表示されます。

F1 F2 ボタンで「消忘れ防止タイマー」「運転後」のうち、変更したい項目を選択します。

**3**

決定

F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えます。

■消忘れ防止タイマー 「無効」「有効」
■運転後 設定範囲：30 ～ 240 分
10 分単位で設定

**4**

ご希望の設定に切換えた後、決定ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

> **画面移動方法**
> ■メインメニュー画面へ戻る・・・メニューボタン
> ■前の画面に戻る・・・戻るボタン

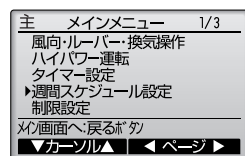
# 使用方法 - 各種設定操作

## 週間スケジュール設定

操作方法

**1**

F1　F2　F3　F4

メニュー　戻る　決定

メインメニュー画面（12ページ参照）で「週間スケジュール設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

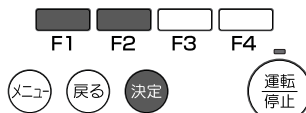
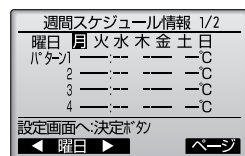
[注意]

・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P9参照）

> **以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。**
> オン / オフタイマー有効中／週間スケジュール無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（禁止中の項目［運転 / 停止、設定温度］に該当する設定内容は実行されません。）

**2**

F1　F2　F3　F4

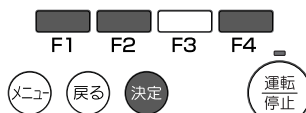
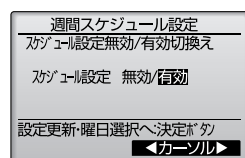
戻る　決定

現在の設定状況が表示されます。

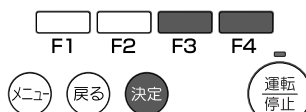
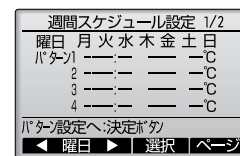
[F1] [F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。
[F4] ボタンで５～８パターンを表示します。

設定画面へ進むには[決定]ボタンを押します。

**3**

F1　F2　F3　F4

決定

スケジュール設定無効 / 有効切換え画面が表示されます。

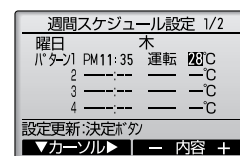
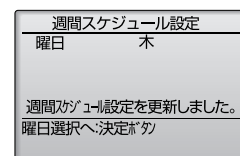
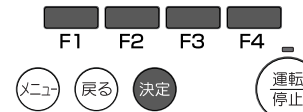
スケジュールを有効にする場合は、[F3] [F4] ボタンで「有効」を選択し、[決定] ボタンを押します。

**4**

週間スケジュール設定画面が表示されます。
現在の設定状況が表示されます。
１日８パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、[F1] [F2] ボタンで曜日を選択し、[F3] ボタンを押して設定する曜日を確定します。（曜日は複数選択できます）

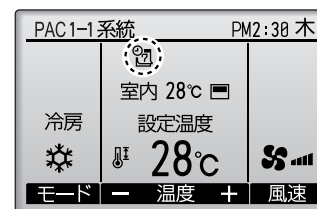
ご希望の曜日に選択した後、[決定] ボタンを押します。

**5**

F1　F2　F3　F4

決定

パターン設定画面が表示されます。
[F1] ボタンでパターンを選択します。
[F2] ボタンで「時刻」「運転 / 停止」「温度」を選択します。
[F3] [F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。
■時刻　５分単位で設定
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
■運転 / 停止　「運転」「停止」
■温度　設定範囲：接続される室内ユニットの設定可能温度範囲。
ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

> **画面移動方法**
> ■設定更新・曜日選択画面に戻る・・・[決定] ボタン
> ■メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー] ボタン
> ■前の画面に戻る・・・[戻る] ボタン

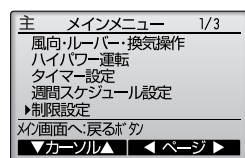
当日実行する週間スケジュール設定があるとき、詳細メイン画面に「 」が表示されます。

オン / オフタイマー有効中は表示されません。

# 使用方法 - 各種設定操作

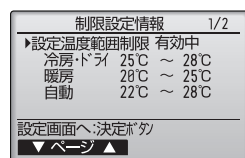
## 制限設定

### 設定温度範囲制限の設定方法

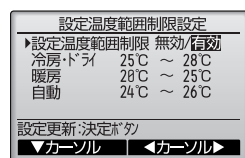
操作方法

**1**

メインメニュー画面（12ページ参照）で「制限設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。

[注意]
・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P9参照）

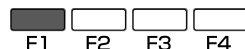
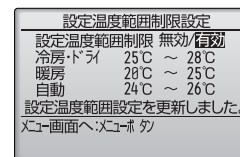
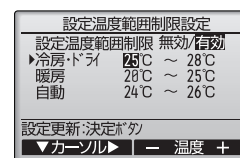
**2**

現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「設定温度範囲制限」を選択し[決定]ボタンを押します。

**3**

設定温度範囲制限設定画面が表示されます。

[F1] ボタンで「設定温度範囲制限」「冷房・ドライ上下限値」「暖房上下限値」「自動上下限値」のうち、変更したい項目を選択します。

[ 注意 ]
・ドライモードは設定できません。（P10 参照）

**4**

[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。
■設定温度範囲制限 「無効」「有効」
■冷房・ドライ上下限値
■暖房上下限値
■自動上下限値

**設定温度範囲制限の設定範囲**

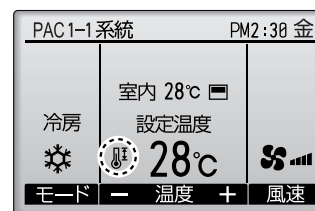
| モード | 下限値 | 上限値 |
|---|---|---|
| 冷房 | 14～30℃ | 30～14℃ |
| 暖房 | 17～28℃ | 28～17℃ |
| 自動 | 17～28℃ | 28～17℃ |

※上表は中温機種の設定範囲になります。
　設定範囲は接続されるユニット（標準、中温、低温機種など）により異なります。
※ドライモードは表示されますが、設定できません。

ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。

設定温度範囲制限設定
設定温度範囲制限 無効/有効
冷房・ﾄﾞﾗｲ 25℃ ～ 28℃
暖房 20℃ ～ 25℃
自動 24℃ ～ 26℃
設定温度範囲設定を更新しました。
ﾒﾆｭｰ画面へ:ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ

設定確定画面が表示されます。

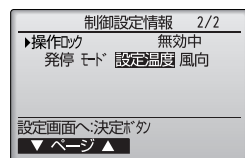
**画面移動方法**
■メインメニュー画面へ戻る・・・ [メニュー] ボタン
■前の画面に戻る・・・ [戻る] ボタン

設定温度範囲制限設定が有効の時、詳細メイン画面に「 」が表示されます。

# 使用方法 - 各種設定操作

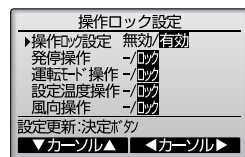
## 制限設定

### 操作ロックの設定方法

操作をロックするときは
操作ロック設定を「有効」にしてください。

操作方法

制限設定画面を表示します。
（18ページ参照）

制限設定画面で「操作ロック」を選択し、[決定]ボタンを押します。

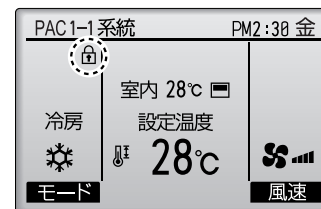
2

操作ロック設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「操作ロック設定」「発停操作」「運転モード操作」「設定温度操作」「風向操作」のうち、変更したい項目を選択します。

[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。
■操作ロック設定　「無効」「有効」
■発停操作　「ー」「ロック」
■運転モード操作　「ー」「ロック」
■設定温度操作　「ー」「ロック」
[ 注意 ]
・風向操作は設定できません。

ご希望の設定に切換えた後、[決定]ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

**画面移動方法**
■メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー]ボタン
■前の画面に戻る・・・[戻る]ボタン

（設定温度ロック時の画面例）

操作ロック設定が有効の時、詳細メイン画面に「🔒」が表示されます。

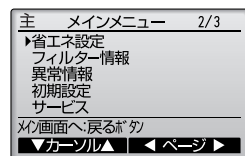
操作ロックに対応する操作ガイドが表示されなくなります。

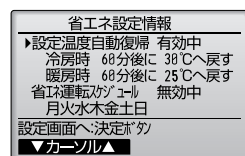
# 使用方法 - 各種設定操作

## 省エネ設定

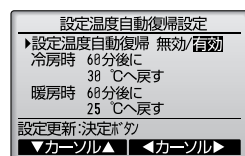
### 設定温度自動復帰の設定方法

操作方法

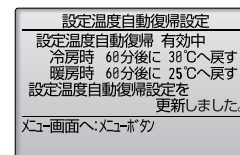
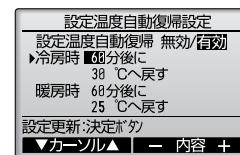
**1**

メインメニュー画面（12ページ参照）で「省エネ設定」を選択し、決定ボタンを押します。

**2**

現在の設定状況が表示されます。

F1 F2 ボタンで「設定温度自動復帰」を選択し、決定ボタンを押します。

**3**

設定温度自動復帰設定画面が表示されます。

F1 F2 ボタンで「設定温度自動復帰」「冷房時」「暖房時」のうち、変更したい項目を選択します。

**4**

F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えます。

■設定温自動復帰　「無効」「有効」

■冷房時　時間の設定範囲：30 分～ 120 分（10 分単位）
　　　　　温度の設定範囲：14℃～ 30℃

■暖房時　時間の設定範囲：30 分～ 120 分（10 分単位）
　　　　　温度の設定範囲：17℃～ 28℃

※上記は中温機種の設定範囲になります。
　設定範囲は接続されるユニット（標準、中温、低温など）により異なります。

ご希望の設定に切換えた後、決定ボタンを押します。

「冷房時」は自動冷房、「暖房時」は自動暖房を含みます。

設定画面が表示されます。

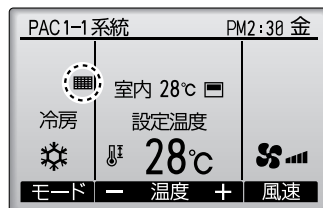
**画面移動方法**

■メインメニュー画面へ戻る・・・ メニュー ボタン

■前の画面に戻る・・・ 戻る ボタン

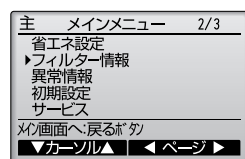
**設定温度範囲制限が有効中および集中管理中（禁止中の項目が「設定温度」の場合）は、本設定は実行されません。**

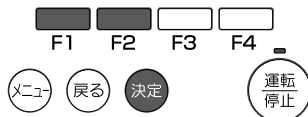
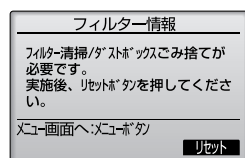
# お手入れ

## フィルター情報・フィルターサイン解除

フィルターのお手入れ時期になると、詳細メイン画面に「」が表示されます。

**フィルターの洗浄・清掃・交換を行ってください。**

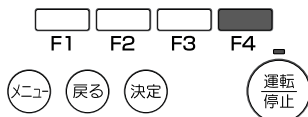
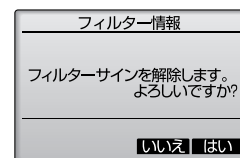
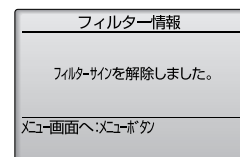
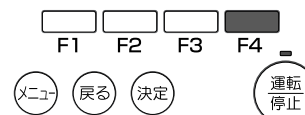
操作方法

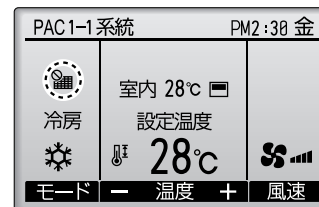
**1**

決定
メインメニュー画面（12ページ参照）で「フィルター情報」を選択し、決定ボタンを押します。

**2**

決定
フィルター情報をリセットする場合はF4ボタンを押します。
フィルター清掃のしかたについては 44ページをご覧ください。

**3**

F4ボタンで「はい」を選択します。

フィルター情報
ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝを解除しました。
ﾒﾆｭｰ画面へ:ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ

設定確定画面が表示されます。

**画面移動方法**
■メインメニュー画面へ戻る・・・メニューボタン
■前の画面に戻る・・・戻るボタン

詳細メイン画面に「」が表示されるときは、集中管理中のためフィルターサインを解除することはできません。

2台以上の室内ユニットが接続されている場合、フィルターの種類によって清掃時期が異なる場合があります。
「」表示は、代表機種（親機）の清掃時期に表示されますので、フィルターサインの解除を行うと全ての積算時間がリセットされます。
「」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
フィルター清掃時期の積算時間は、おおよそ下記の時間ごと、およびシーズン始めと終わりに清掃してください。
天吊形：1250時間（1回/週点検し、汚れ具合に応じて清掃することをおすすめします。）

# 故障かな？と思ったら

## 異常情報

**異常が発生した場合、以下の異常画面が表示されます。
異常内容を確認の上、運転を停止しお買上げの販売店にご連絡ください。**

操作方法

**1**

F1 F2 F3 F4 点滅
メニュー 戻る 決定 運転 停止

異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ手入力されている場合に表示されます。

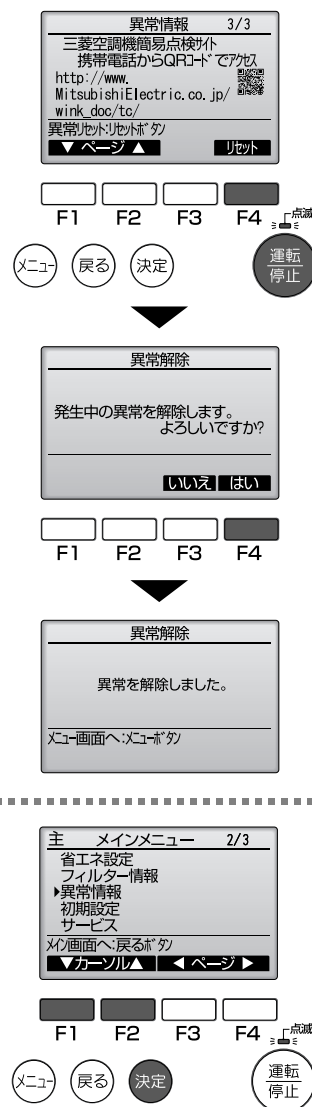
[F1] [F2] ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報（販売店名、販売店の電話番号、サービス店名、サービス店の電話番号）が表示されます。
あらかじめ手入力されている場合に表示されます。

携帯電話点検コード検索サービスサイトの QR コードと URL が表示されます。

**QR コード®**
二次元バーコードリーダー機能が搭載されてる携帯電話でご利用いただけます。
携帯電話を QR コード®読み取りモードに設定し、QR コード®部分を読み込んでいただくと簡単にアクセスすることができます。
QR コード®は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

**2**

メニュー 戻る 決定 運転 停止

発生中の異常を解除する場合は [F4] ボタンまたは [運転 / 停止] ボタンを押します。

**運転 / 停止操作禁止中は異常解除できません。**

異常解除
発生中の異常を解除します。
よろしいですか?
いいえ はい

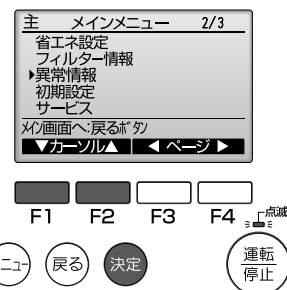
F1 F2 F3 F4

[F4] ボタンを押すと異常をリセットします。

異常解除
異常を解除しました。
メニュー画面へ:メニューボタン

**画面移動方法**
■メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー] ボタン
■前の画面に戻る・・・[戻る] ボタン

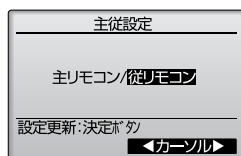
**情報確認**

メニュー 戻る 決定 運転 停止

異常が発生していない時、メインメニュー画面（12ページ参照）で「異常情報」を選択すると、異常情報画面の 2/3、3/3 ページの内容（左記）を確認することができます。
異常リセットはできません。

# 初期設定（リモコン設定）

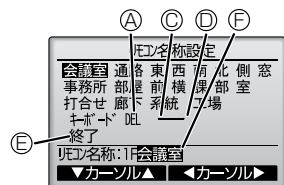
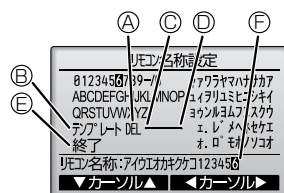
## 主従設定

ペアリモコンで使用する時には必ず設定が必要です。ペアリモコンのうち１台を従リモコンに設定してください。

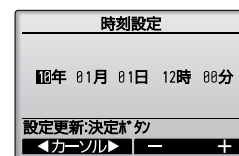
操作方法

①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、主従設定を選択し決定ボタンを押すと、主従設定画面が表示されます。
②F3 F4 ボタンを操作すると現在選択している項目が反転表示されます。従リモコンを選択した後、決定ボタンにより設定更新します。
③設定後、メニューボタンでメインメニュー画面に戻ります。
（以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです）

## リモコン名称設定

メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定をおこないます。リモコン名称は半角16文字まで入力できます。（テンプレートで入力した文字は１文字あたり半角2文字分となります。）

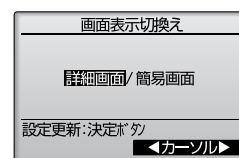
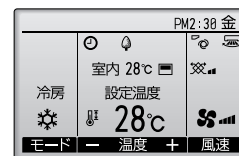
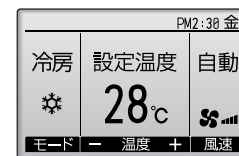
操作方法

①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、リモコン名称設定を選択し決定ボタンを押すと、リモコン名称設定画面が表示されます。
②F1～F4ボタンにて文字を選択し、決定ボタンで１文字ずつ決定します。
③決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」Ⓐを選択し決定ボタンを押します。
④「テンプレート」Ⓑを選択して決定ボタンを押すと、テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。（テンプレートは変更できません。）
⑤「←」Ⓒ「→」Ⓓを選択すると、リモコン名称の文字入力カーソル Ⓕ の文字が対象となり文字消去、変更ができます。
⑥入力が完了したら、「終了」Ⓔ を選択します。決定ボタンを押してリモコン名称を決定します。

## 時刻設定

操作方法

①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、時刻設定を選択し決定ボタンを押すと、時刻設定画面が表示されます。
②F1 F2 ボタンで変更する項目に移動します。
③F3 F4 ボタンにて、年月日時分を変更し、決定ボタンで設定更新します。
設定更新したデータは、メイン画面の時刻表示に反映されます。

**お知らせ**　「時刻表示・週間スケジュール・タイマー動作・異常などの履歴」に必要なため、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは必ず設定してください。

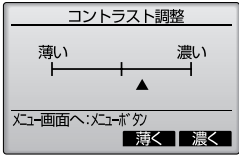
## メイン画面表示設定

操作方法

①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、メイン画面表示設定を選択し決定ボタンを押すと、画面表示切換え画面が表示されます。
②F3 F4ボタンにてメイン画面表示を設定します。（工場出荷時は詳細画面です。）

詳細画面（例）

簡易画面（例）

**お知らせ**　本設定によりメインメニュー画面など、他の画面は変わりません。
簡易画面では「タイマー、スケジュールなどの（制御）状態を示すアイコン」や「風向・ルーバー・換気・室内温度」が表示されません。

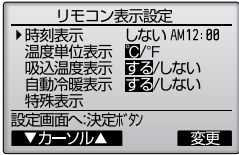
# 初期設定（リモコン設定）

## コントラスト調整

操作方法

①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、コントラスト調整を選択し 決定 ボタンを押すと、コントラスト調整画面が表示されます。
② F3 F4 ボタンにてリモコンの液晶表示のコントラストを調整します。現在の設定が▲で示されます。

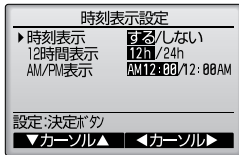
**お知らせ**　据付位置や照明によって表示が見えにくい場合、コントラスト調整することにより改善する場合があります。コントラスト調整により全方向から見えやすくすることはできません。



## リモコン表示設定

リモコン表示設定画面

①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、リモコン表示設定を選択し 決定 ボタンを押すと、リモコン表示設定画面が表示されます。
②リモコンの表示に関する各項目について、必要に応じ設定をおこないます。
各項目を設定後、決定 ボタンにて設定更新します。

### 時刻表示

操作方法

・リモコン表示設定画面の「時刻表示」にて F4（変更）ボタンを押すと、時刻表示設定画面が表示されます。
・ F1 ～ F4 ボタンにより、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択します。
・ 決定 ボタンにより設定を更新します。（工場出荷時は“表示する／AM12:00表示”です。）

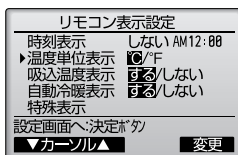
時刻表示　：・する（メイン画面に時刻表示します）
　　　　　　・しない（メイン画面に時刻表示しません）
12時間表示　：・24h（24時間表示）
　　　　　　・12h（12時間表示）
AM/PM表示（12時間表示の時のみ有効となります）：・AM12:00（時刻の前にAM/PM表示）
　　　　　　・12:00AM（時刻の後にAM/PM表示）

**お知らせ**　12時間表示形式、12時間／24時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。
12時間表示、24時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12時間表示： | AM12:00 | ～ | AM1:00 | ～ | PM12:00 | ～ | PM1:00 | ～ | PM11:59 |
| 24時間表示： | 0:00 | ～ | 1:00 | ～ | 12:00 | ～ | 13:00 | ～ | 23:59 |

# 初期設定（リモコン設定）

## 温度単位表示

操作方法

リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、F3 F4ボタンにて設定します。（工場出荷時は摂氏（℃）です。）

・℃：温度表示単位を摂氏表示にします。
・°F：温度表示単位を華氏表示にします。

## 吸込温度の温度表示

操作方法

リモコン表示設定画面の、「吸込温度表示」にカーソルを合わせ、F3 F4ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

・す　る：メイン画面に室内温度を表示します。
・しない：メイン画面に室内温度を表示しません。

**お知らせ**　「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

## 自動冷暖表示

操作方法

リモコン表示設定画面の、「自動冷暖表示」にカーソルを合わせ、F3 F4ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

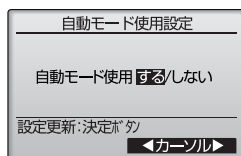
・す　る：自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」が表示されます。
・しない：自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

## 特殊表示

本機では、特殊表示機能がないため、特殊表示に関する設定はご使用できません。

# 初期設定（リモコン設定）

## 自動モード設定

操作方法

①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、自動モード設定を選択し 決定 ボタンを押すと自動モード使用設定画面が表示されます。

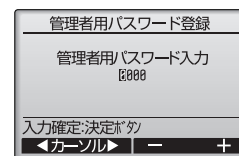
②自動運転モード機能のある室内ユニットに接続した場合、自動モード使用、不使用を F3 F4 ボタンにて設定します。（工場出荷時は使用「する」です。）
決定 ボタンにより設定を更新します。

・す　る：運転モード選択時に自動モードを表示します。
・しない：運転モード選択時に自動モードを表示しません。

※自動モードをリモコンに表示させるには、リモコンで自動モードを使用するに設定すること以外に室外ユニットのスイッチ設定を変更する必要があります。スイッチ設定の詳細については「設計工事マニュアル」「サービスハンドブック」を参照ください。



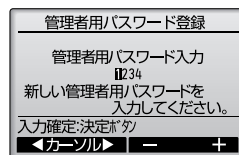
## 管理者用パスワード登録

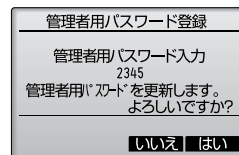
操作方法

①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、管理者用パスワード登録を選択し 決定 ボタンを押すと、管理者用パスワード登録画面が表示されます。

②最初に現在設定されている管理者用のパスワード（数字4桁）を入力します。
F1 F2 ボタンで桁を選択し、F3 F4 ボタンにて0～9の数字を設定します。

③4桁のパスワードを入力後、決定 ボタンを押します。

**お願い**　管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
パスワードは必要な方が分るよう適切に管理してください。

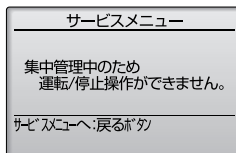
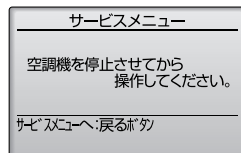
**お知らせ**　管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて F1 F2 ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。

④パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。
同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、決定 ボタンを押します。

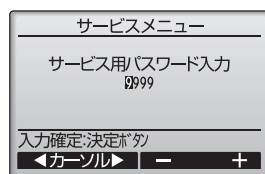
管理者用パスワード登録
管理者用パスワード入力
2345
管理者用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを更新します。
よろしいですか?
いいえ　はい

⑤パスワード更新確認画面が表示されますので、F4（はい）ボタンにて更新します。
取り消す場合は F3（いいえ）ボタンを押します。

**お知らせ**　管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。
・タイマー設定　・週間スケジュール設定　・制限設定　・省エネ設定
各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

# サービスメニュー

サービスメニュー
空調機を停止させてから
操作してください。
ｻｰﾋﾞｽﾒﾆｭｰへ:戻るﾎﾞﾀﾝ

サービスメニュー
集中管理中のため
運転/停止操作ができません。
ｻｰﾋﾞｽﾒﾆｭｰへ:戻るﾎﾞﾀﾝ

**お知らせ**
サービスメニューの項目によっては空調機を停止させる必要があります。
また、集中コントローラから集中管理中は操作できない場合があります。

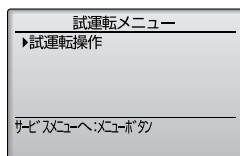
サービスメニュー
サービス用パスワード入力
9999
入力確定:決定ﾎﾞﾀﾝ
◀カーソル▶ − ＋

※サービスメニューを選択するとパスワード入力画面が表示されます。
現在設定されているサービス用のパスワード（数字4桁）を入力します。
F1 F2 ボタンで桁を選択し、F3 F4 ボタンにて0〜9の数字を設定します。
4桁のパスワードを入力後、決定 ボタンを押します。
パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。



**お願い**　サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

**お知らせ**　サービス用パスワードを忘れてしまった場合、サービス用パスワード入力画面にて F1 F2 ボタンを同時に3秒連続押しするとパスワードを「9999」に初期化できます。

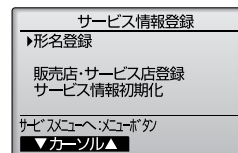
## 試運転

試運転メニュー
▸試運転操作
ｻｰﾋﾞｽﾒﾆｭｰへ:ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ

サービスメニューにて「試運転」を選択すると、試運転メニュー画面が表示されます。

・試運転操作：試運転をおこないます。

**お知らせ**　試運転の詳細については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

## サービス情報登録

サービス情報登録
▸形名登録
販売店･サービス店登録
サービス情報初期化
ｻｰﾋﾞｽﾒﾆｭｰへ:ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ
▼カーソル▲

サービスメニューにて「サービス情報登録」を選択すると、サービス情報登録画面が表示されます。
操作方法の詳細については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

**お知らせ**　サービス情報登録メニューでは下記の設定が行えます。
・形名登録
室外ユニット、室内ユニットの形名、製造番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。形名は半角18文字、製造番号は半角8文字まで入力できます。
・販売店・サービス店登録
販売店名、サービス店名および電話番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。店名は半角10文字、電話番号は半角13文字まで入力できます。
・サービス情報初期化
形名登録内容､または販売店･サービス店登録を選択し､登録内容を全て初期化します。

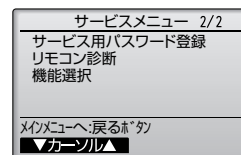
## 室内ユニットの機能選択

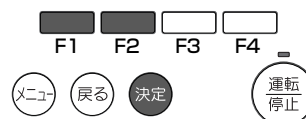
MAリモコンからの設定により、室内ユニットの余熱排除時間・モードを変更できます。
※本設定が有効中は、室内制御基板のSW3-6（余熱排除時間）設定は無効となります。

### 余熱排除時間変更の設定方法

設定方法

**1**

サービスメニュー 2/2
サービス用パスワード登録
リモコン診断
機能選択
ﾒｲﾝﾒﾆｭｰへ:戻るﾎﾞﾀﾝ
▼カーソル▲

F1　F2　F3　F4

MAリモコンのサービスメニュー画面で、F1 F2 ボタンを操作し、「機能選択」を選択し、決定 ボタンを押してください。

# サービスメニュー

**2**

MAリモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスが検索されます。F1 F2 F3 F4 ボタンを操作し、余熱排除モード・時間を変更したい室内ユニット（制御基板）のM-NETアドレスを設定し、機能設定No.を「32」、機能設定値を「2」、実行内容選択を「設定」に設定し、決定ボタンを押してください。

**3**

設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

**4**

戻るボタンを押し、機能選択画面に戻り、F1 F2 F3 F4 を操作し、余熱排除モードを変更したい室内ユニット（制御基板）のM-NETアドレスを設定し、機能設定No.を「71」に、機能設定値を「下表から設定したいモードの設定値」に、実行内容選択を「設定」に設定し、決定ボタンを押してください。

| 機能設定No. | | 機能設定値 |
|---|---|---|
| 71 | 余熱排除モード | 1：暖房<br>2：全モード |

**5**

設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

**6**

戻るボタンを押し、機能選択画面に戻り、F1 F2 F3 F4 を操作し、余熱排除時間を変更したい室内ユニット（制御基板）のM-NETアドレスを設定し、機能設定Noを「58」に、機能設定値を「下表から設定したい時間の設定値」に、実行内容選択を「設定」に設定し、決定ボタンを押してください。

| 機能設定No. | | 機能設定値 |
|---|---|---|
| 58 | 余熱排除時間 | 1：1分<br>2：2分<br>3：3分5秒<br>4：4分<br>5：5分<br>6：6分<br>7：余熱排除なし |

**7**

設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

※1　室内ユニット内に複数制御基板のある機種は、全ての制御基板の設定を2～7の操作により同一設定にしてください。

※2　室内制御基板をサービス交換した場合、再設定が必要です。
室内制御基板を交換したときは、必ず1～7の操作により設定してください。その際、交換前の設定値が必要となるため、設定値を以下の表に記入しておいてください。

| 機能設定No. | 機能設定値 |
|---|---|
| 58 | |
| 71 | |

※3　室内制御基板のSW3-6（余熱排除時間）の設定を有効にしたい場合、室内ユニット停止中に、2,3の操作と同様にして機能設定No.32の機能設定値を「1」に設定してください。このときMAリモコンから設定した余熱排除時間・モードは無効となります。
また、再度MAリモコンからの余熱排除時間・モードを有効にしたい場合、1～7の操作により再設定してください。

# サービスメニュー

## ロスナイ設定

設備パッケージエアコンでロスナイとの連動運転をおこなう場合のみ設定します。
リモコンが接続されている室内ユニットに対し設定（ロスナイ登録・登録した内容の検索・登録の抹消）を行うことができます。

| **お願い** | ・集中コントローラが接続される場合は、集中コントローラより設定してください。<br>・ロスナイと連動設定させる場合、必ずグループ内全ての室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを連動設定してください。 |
|---|---|

操作手順

①サービスメニューにて「ロスナイ設定」を選択すると、自動的に現在リモコンが接続している室内ユニットに登録されているロスナイのアドレス検索をおこないます。

②検索が完了すると、現在リモコンが接続されている室内ユニットの最小アドレスと登録されているロスナイのアドレスを表示します。
ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。

ここで設定する必要がなければ、戻る ボタンを押して、「サービスメニュー」に戻ります。

### ロスナイを登録する場合

設定中

ロスナイ設定
室内機ｱﾄﾞﾚｽ 5
ﾛｽﾅｲｱﾄﾞﾚｽ 30
設定完了
前の画面へ:戻るﾎﾞﾀﾝ

正常終了

③室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを F1 ～ F4 ボタンにて設定し、「実行内容選択」で「設定」を選択し、決定 ボタンを押します。

「設定中」が表示され、正常に設定完了すると、「設定完了」が表示されます。

### ロスナイアドレスを検索する場合

ロスナイ設定
室内機ｱﾄﾞﾚｽ 5
ﾛｽﾅｲｱﾄﾞﾚｽ
対象室内機が存在しません。
前の画面へ:戻るﾎﾞﾀﾝ

④ロスナイアドレスを検索したい場合は、リモコンが接続されている室内ユニットのアドレスを設定し、「実行内容選択」で「検索」を選択し、決定 ボタンを押します。
「検索中」が表示され、正常に設定を受信すると室内ユニットアドレスとロスナイアドレスを表示します。
ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。
指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。

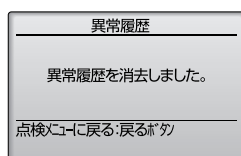
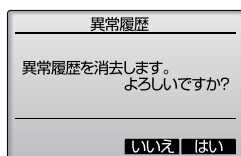
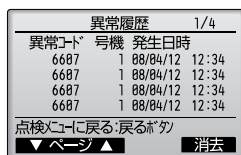
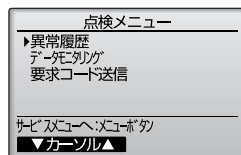
### ロスナイの登録を解除する場合

ロスナイ設定
室内機ｱﾄﾞﾚｽ 5
ﾛｽﾅｲｱﾄﾞﾚｽ 30
正常に終了できませんでした。
前の画面へ:戻るﾎﾞﾀﾝ

リモコンが接続されている室内ユニットとロスナイの登録設定を解除する場合に使用します。
⑤室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを F1 ～ F4 ボタンにて設定し、「実行内容選択」で「抹消」を選択し、決定 ボタンを押します。

「抹消中」が表示され、正常に解除が完了すると検索結果画面に戻ります。
指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。
解除が正常におこなわれなかった場合は、「正常に終了できませんでした」を表示します。

# サービスメニュー

## 点検

サービスメニューにて「点検」を選択すると、点検メニュー画面が表示されます。

①異常履歴
点検メニューにて「異常履歴」を選択し、決定ボタンを押すと異常履歴を最大16件表示します。各ページに4件ずつ表示され、1/4ページの先頭の表示が最新の異常履歴となります。

【異常履歴消去】
異常履歴が表示されている画面でF4（消去）ボタンを押すと、異常履歴消去の確認画面が表示されます。

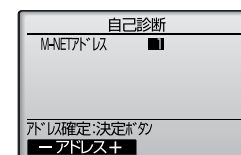
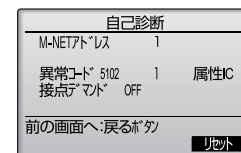
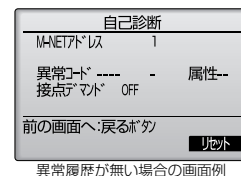
F4（はい）ボタンを押します。

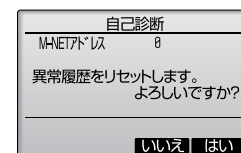
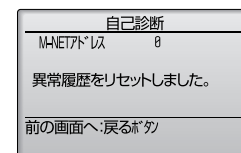
「異常履歴を消去しました」が表示されます。
戻るボタンを押して、点検メニュー画面に戻ります。

②他の点検メニュー項目
点検メニューでは、異常履歴の他に以下の項目があります。
・データモニタリング
・要求コード送信

## 自己診断

リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

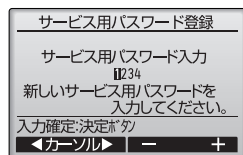
操作手順

①サービスメニューにて「自己診断」を選択し、決定ボタンを押すと自己診断画面を表示します。
②F1 F2 ボタンにてM-NETアドレスを設定し、決定ボタンを押します。

③異常コード・M-NETアドレス・属性・室内ユニットの接点デマンドON/OFF状態が表示されます。
異常履歴が無い場合は、「－」が表示されます。


異常履歴が無い場合の画面例

【異常履歴リセット】
①異常履歴表示中にF4（リセット）ボタンを押すと確認画面が表示されます。

②確認画面にてF4（はい）ボタンを押すと室内ユニットの異常履歴を消去します。
消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」ユニットから応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。

# サービスメニュー

## サービス用パスワード登録

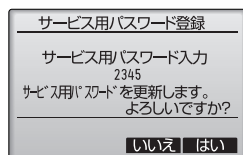
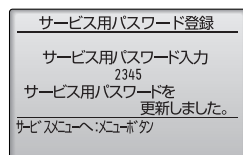
サービスメニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。

操作手順

①サービスメニューにて「サービス用パスワード登録」を選択し、決定ボタンを押すと新規パスワード登録画面を表示します。

②F1 F2ボタンで桁を選択し、F3 F4ボタンにて0〜9の数字を設定します。

③4桁のパスワードを入力後、決定ボタンを押します。

サービス用パスワード登録
サービス用パスワード入力
2345
ｻｰﾋﾞｽ用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを更新します。
よろしいですか?
いいえ　はい

④パスワード更新確認画面が表示されますので、F4（はい）ボタンにて更新します。
取り消す場合はF3（いいえ）ボタンを押します。

サービス用パスワード登録
サービス用パスワード入力
2345
サービス用パスワードを
更新しました。
ｻｰﾋﾞｽﾒﾆｭｰへ:ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ

⑤パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。

⑥メニューボタンにてサービスメニューへまたは戻るボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻ります。

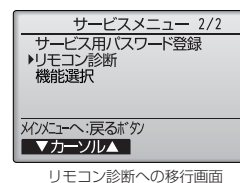
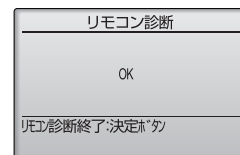
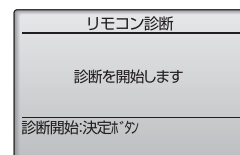
## リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。

（1）まずはリモコン表示の有無を確認してください（罫線含む）
　　リモコンに正常な電圧（DC8.5〜12V）が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。この場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

操作手順

リモコン診断への移行画面

リモコン診断
診断を開始します
診断開始:決定ﾎﾞﾀﾝ

リモコン診断
OK
ﾘﾓｺﾝ診断終了:決定ﾎﾞﾀﾝ

リモコン診断結果の画面

①サービスメニューにて「リモコン診断」を選択し、決定ボタンを押すとリモコン診断を開始し、結果を表示します。
リモコン診断を行わない時は、メニューまたは戻るボタンを押すと、リモコン診断メニューから抜けることができます。
この時、リモコンは再立上げを行いません。

OK　：リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。

6832　：伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。

NG（ALL0、ALL1）　：
リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。

ERC（データエラー数）：
データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

②リモコン診断結果表示後、決定ボタンを押すとリモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。

# 故障かな？と思ったら

## Q&A

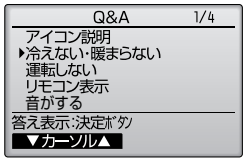
**下記のような Q&A を見ることができます。**
■代表的なトラブルシューティング
■通常画面に表示されるアイコンの意味

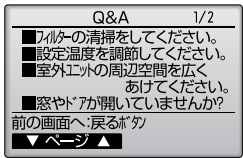
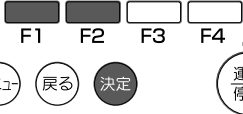
操作方法

**1**

主　メインメニュー　3/3
▶Q&A
ﾒｲﾝ画面へ:戻るﾎﾞﾀﾝ
▼カーソル▲　◀ ページ ▶

メインメニュー画面（12ページ参照）で「Q&A」を選択し、決定ボタンを押します。

**2**

F1 F2 ボタンにて状況を選択し 決定 ボタンを押します。

F1　F2　F3　F4

選択した状況に対する、対応方法が表示されます。
項目により複数のページがある場合は、F1 F2 ボタンでページを切換えます。

**画面移動方法**
■メインメニュー画面へ戻る・・・メニューボタン
■前の画面に戻る・・・戻るボタン

## 運転温度範囲のめやす

・冷房

| | 室内側吸込空気 | 室外側吸込空気 |
|---|---|---|
| 乾球温度 | — | −5〜43℃ |
| 湿球温度 | 10〜25℃ | — |

・暖房

| | 室内側吸込空気 | 室外側吸込空気 |
|---|---|---|
| 乾球温度 | 15〜28℃ | — |
| 湿球温度 | — | −20〜15.5℃ |

注1. 露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が水漏れに至るおそれがあります。

## もっと知りたいとき

### 暖房運転について

●運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

### 送風運転

●送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

### 霜取中とは

●外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。
霜取運転は約7分程度（最大12分）で終わります。

●霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
※設定により霜取中も送風機が運転することがあります。
設定についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

### 換気連動運転とは

●エアコンの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

# 上手な使い方

**上手な使い方**　“インバーターエアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

## 室内温度（室温）は最適に

●冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。

●冷やしすぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

## 冷房時は熱の侵入を少なく

●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。

●出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

## 長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因になります。

●特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

## フィルターの清掃を

●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また、露付き・露たれの原因にもなります。

●フィルターは通常の環境では21ページに記載の時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。

●操作部（MAリモコン）は、フィルターサイン表示が可能です。

## ときどき換気を

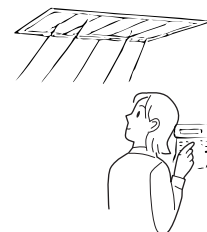
●長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。

●送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。

●冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。
当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

## 室内の温度ムラ解消に風向調節を

●冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重いので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。

●暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くに溜まるからです。
下吹出しなどにして風向を調節してください。
※天吊形の風向調節は別売プレナムチャンバーを取付け、リモコンでの操作となります。手動で調節は行わないでください。

# データモニタリング機能

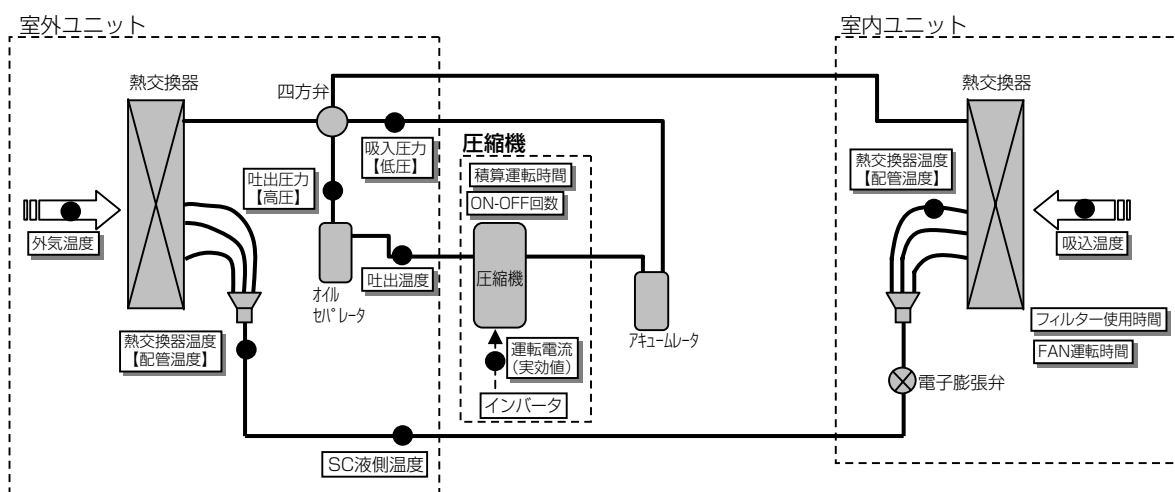
●作業の手間を大幅に削減します。
●室内に居ながら室外・内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。

**■メンテナンス情報**

| | |
|---|---|
| 圧縮機 | 積算運転時間　※2 |
| | ON-OFF回数　※1 |
| | 運転電流 |
| 室外ユニット | 熱交換器温度【配管温度】 |
| | 外気温度 |
| | 吐出圧力【高圧】 |
| | 吸入圧力【低圧】　※4 |
| | 吐出温度 |
| | 高圧圧力飽和温度　※4 |
| | SC液側温度　※3　※4 |

| | |
|---|---|
| 室内ユニット | 熱交換器温度【配管温度】 |
| | 吸込温度 |
| | フィルター使用時間 |
| | FAN運転時間　※2 |

※1　圧縮機ON-OFF回数は100回単位でデータ更新します。
　　例:実際の圧縮機ON-OFF回数が99回の場合、リモコン表示は0回となり、101回の場合、リモコン表示は100回となります。
※2　圧縮機積算時間、FAN運転時間は、10時間単位でデータ更新します。
　　例:実際の運転時間が9時間の場合リモコン表示は0時間となり、11時間の場合リモコン表示は10時間となります。
※3　DM-Eタイプの機種では、SC液側温度サーミスターがないため、SC液側温度は「未対応」と表示されます。
　　（P224～P560VCM-E1タイプの機種に対応しています）
※4　室外ユニットがP140形では、吸入圧力【低圧】・高圧圧力飽和温度・SC液側温度は「未対応」と表示されます。

**■メンテナンス情報イメージ**

運転時間積算利用時の注意事項

（1）端数の取扱い
　通電が停止するとカウントされる前の端数（FAN運転時間は1～9時間、圧縮機積算運転時間,フィルター使用時間は1～59分）は0に戻ります。
　運転時間積算を利用する時は、通電したままにしてください。
　なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間（FAN運転時間は10時間単位以上、圧縮機積算運転時間,フィルター使用時間は1時間単位以上）は保持されます。

（2）フィルター使用時間
　“フィルター清掃”表示設定時はMAリモコン操作により使用時間がリセットできます。
　非表示設定時はリセットできません。

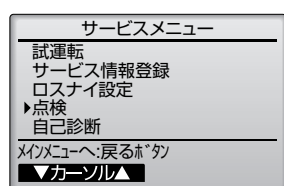
## (1)メンテナンスモード操作方法

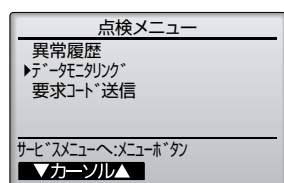
**＊データモニタリング機能を使用する時は室外・室内ユニットのパネルを外さないでください**
**（ユニットが運転した場合ケガをするおそれがあります)。**

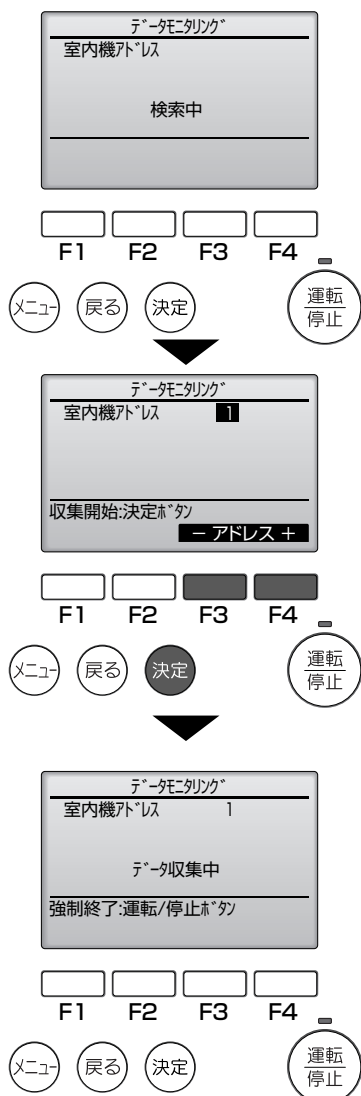
### メンテナンスモードへの切換え

メンテナンスモードには、運転中にのみ切換えしてください。
※ユニット停止中・点検中はメンテナンスモードへ切換えしないでください。
※試運転中は入れません。
※リモコン従設定の場合は、メンテナンスモードには入れません。
※集中管理中はメンテナンスモードには入れません。

操作方法

1

サービスメニュー画面で、F1 F2 ボタンを操作して「点検」を選択し、決定 ボタンを押してください。

2

点検メニュー画面に移行し、F1 F2 ボタンを操作して「データモニタリング」を選択し、決定 ボタンを押してください。

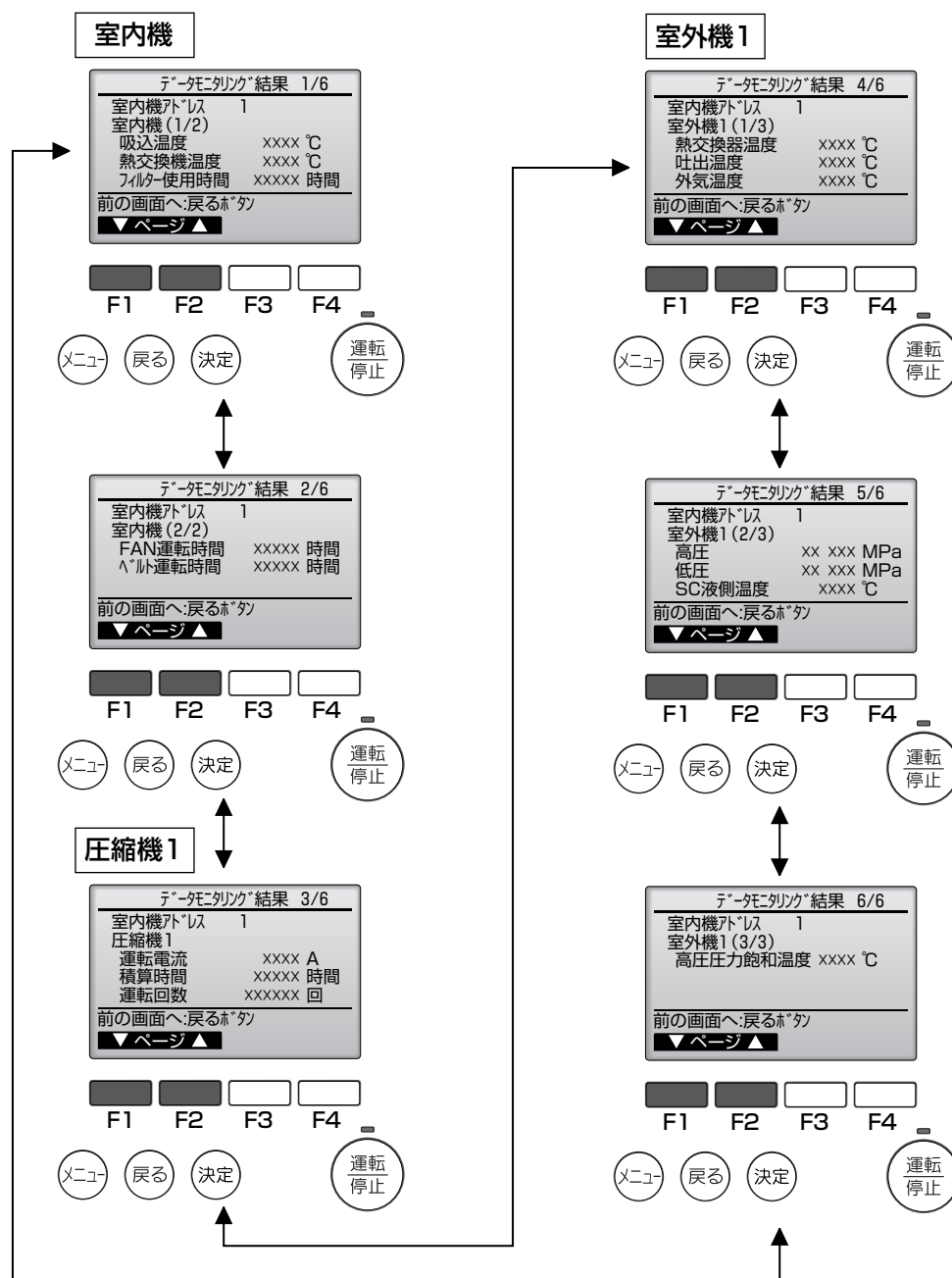
3

データモニタリング画面に移行し、MAリモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

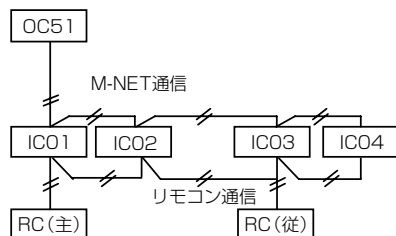
F3 F4 ボタンを操作して 室内ユニット（制御基板）アドレスを選定し、決定 ボタンを押してください。

## 4

データの収集が開始され、約5分後データ収集が完了します。収集されるデータは、（3）で選択したアドレスの室内ユニット（制御基板）情報およびこの室内ユニットと同一冷媒系に接続された室外ユニットの情報になります。F1 F2 ボタンを操作すると各ユニット情報が表示されます。

※圧縮機の運転電流はインバータから圧縮機への電流の実効値になります。
※DM-Eタイプの機種では、SC液側温度サーミスターがないため、SC液側温度は「未対応」と表示されます。
※室外ユニットがP140形では、吸入圧力【低圧】・高圧圧力飽和温度は「未対応」と表示されます。

※ F1 F2 ボタン操作により画面が遷移します。
※本機種は室外ユニット2（OS1）、室外ユニット3（OS2）が接続されておりませんので、室内機、圧縮機1、室外機1の内容のみ表示されます。

5 データモニタリングを解除する場合は、[メニュー]または[戻る]ボタンを押してください。

## ●操作例

室外ユニット、圧縮機のデータをモニタリングする場合、必ず各室外ユニットに接続されている（M-NET通信線）室内ユニットアドレスを選定してください。

ー操作例ー

■上記システムの室外ユニット（OC51）の情報をモニターする場合

①室内ユニットアドレス**01**を設定します。

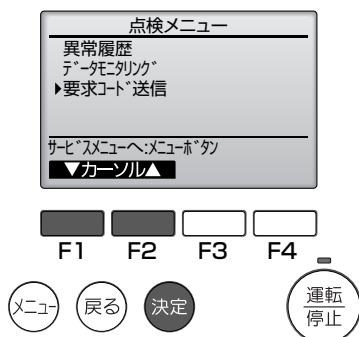
モニターする各ユニットの表示は下記となります。
・室内機　=IC01
・室外機1　=OC51
・圧縮機1　=OC51

※室内ユニットアドレス**04**設定時。
モニターする各ユニットの表示は下記となります。
・室内機　=IC04
・室外機1　=OC51
・圧縮機1　=OC51

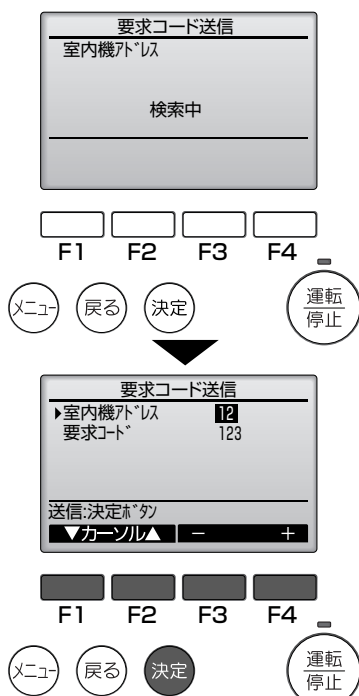
## データを個別にモニタしたい場合

操作方法

**1**

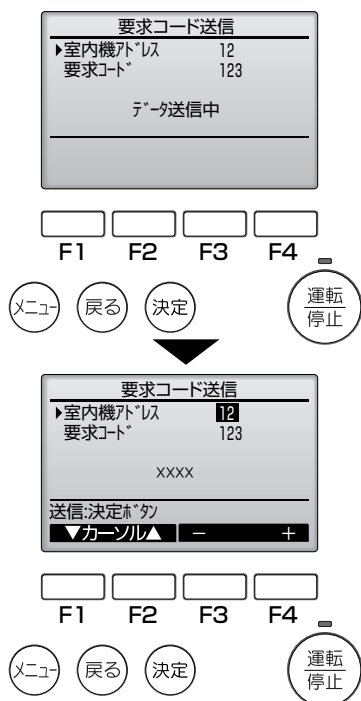
サービスメニュー画面で、F1 F2ボタンを操作して「点検」を選択し、決定ボタンを押してください。

**2**

点検メニュー画面で、F1 F2ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、決定ボタンを押してください。

**3**

要求コード送信画面に遷移し、MAリモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

F1 F2 F3 F4ボタンを操作し、下表からモニタしたいユニット情報の項目の要求コードを設定し、決定ボタンを押してください。

| データモニタ先 | モニタ項目 | 要求コード | 表示単位 |
|---|---|---|---|
| 圧縮機1 | 運転電流 | 1 | A |
| | 積算運転時間 | 2 | hr |
| | ON-OFF回数 | 3 | 回 |
| 室外機1 | 吐出温度 | 4 | ℃ |
| | 外気温度 | 9 | ℃ |
| | 吐出圧力【高圧】 | 50 | MPa |
| | 吸込圧力【低圧】 | 51 | MPa |
| | 熱交換器温度【配管温度】 | 52 | ℃ |
| | SC液側温度 | 84 | ℃ |
| | 高圧圧力飽和温度 | 97 | ℃ |

4

データの収集が始まり、約10〜20秒後にモニタしたデータが表示されます。

## ファン運転時間リセット操作方法

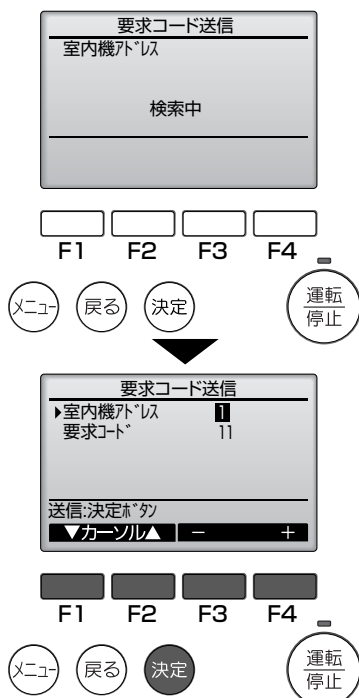
操作方法

1

サービスメニュー画面で、F1 F2ボタンを操作して「点検」を選択し、決定ボタンを押してください。

2

点検メニュー画面で、F1 F2ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、決定ボタンを押してください。

3

要求コード送信画面に遷移し、MAリモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

F1 F2 F3 F4 ボタンを操作し、リセットしたい室内ユニット（制御基板）のアドレス、および下表からリセットしたい情報の要求コードを設定し、決定ボタンを押してください。

| データモニタ先 | 設定項目 | 要求コード | 表示単位 |
|---|---|---|---|
| 室内機 | FANモーター運転時間リセット | 11 | − |

4

データがリセットされます。

# お手入れのしかた

**掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。**
- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

**部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。**
- けがのおそれあり。

## エアフィルターの清掃

・エアフィルターにゴミがたまると、冷暖房能力の低下や故障の原因になります。

**フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。**
- フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。

**フィルターの清掃・交換などの作業時はチェーンを離さないこと。**
- フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。

1）フィルター昇降方法

1. ユニットが停止していることを確認する。
 ※フィルターが正常に昇降できずケガや故障の原因になりますので、ユニット運転中は昇降作業を行わないでください。

2. フィルターを下降させる：本体に近い方のチェーンを引張る。（図1）
 フィルターを上昇させる：吸込側のチェーンを引張る。（図1）
 ※**フィルターボックスの真下で昇降作業を行わないでください。**
 ※**フィルターが自重で自然降下することがありますので昇降中はチェーンから手を放さないでください。**
 ※チェーンがねじれた状態で昇降作業はしないでください。必ず、ねじれを直し、作業を行ってください。
 ※昇降作業時およびフィルター収納後、無理な力で引張らないでください。チェーン切れのおそれがあります。
 ※フィルターを斜め方向から昇降させないでください。正常に昇降または収納できない場合がありますので必ず、フィルターはフィルターボックスの真下にし、昇降を行ってください。（図2）
 ※フィルター上昇時、“カチカチカチ”というラチェット動作音がしますが、異常ではありません。
 ※フィルター下降作業時、フィルターがフィルターボックスに引掛った場合、下降作業をやめ、一旦フィルターを巻戻し、初回よりも少し強くチェーンを引張ってください。
 ※昇降時以外はチェーンに引掛らないよう束ねるか、邪魔にならない場所に固定してください。

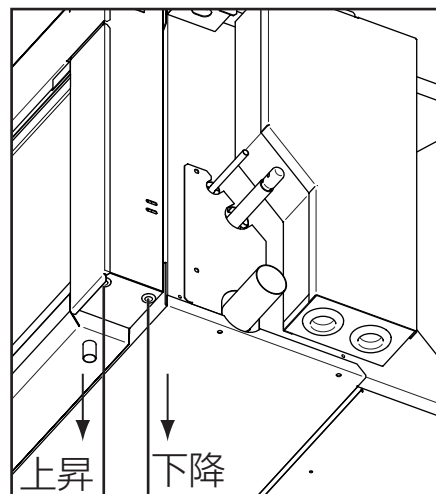



図1

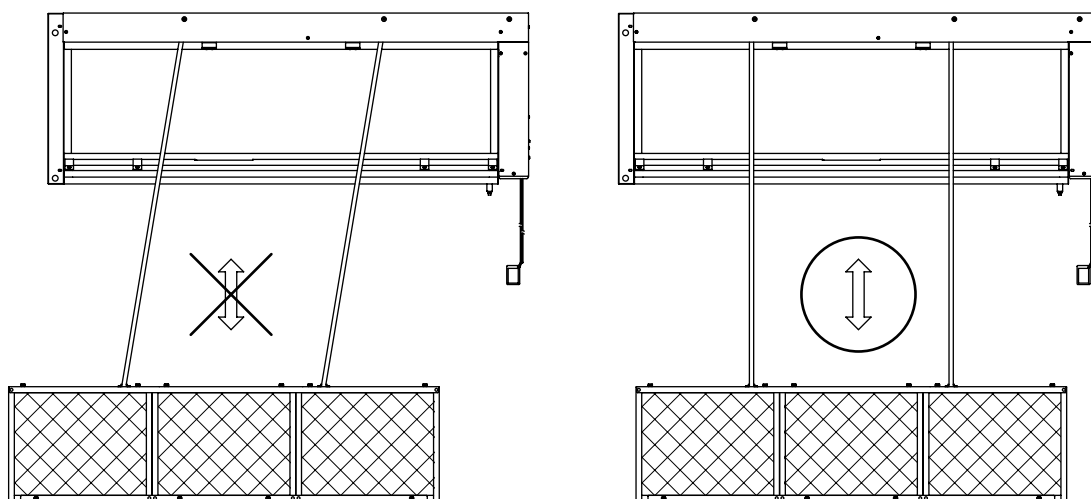



図2

## 2）フィルター取外し方法

手袋等の保護具を着用し、作業を行ってください。

1. フィルター取付け枠にフィルターを固定している金具取付けネジ（81TB・83STBは4本、82TB・84STBは6本使用）を外してください。（図3）
2. フィルター引掛け金具にフィルターを固定している金具取付けネジ（81TB・83STBは2本、82TB・84STBは4本使用）を外してください。（図3）
   ※ヒモを固定している金具固定ネジを外さないでください。
   ※ヒモに傷をつけたり、火をつけたりしないでください。
3. フィルターの清掃時に取外した部品、ネジを付け忘れますとフィルター落下のおそれがあります。必ず元の位置にしっかりと取付けてください。（図4）

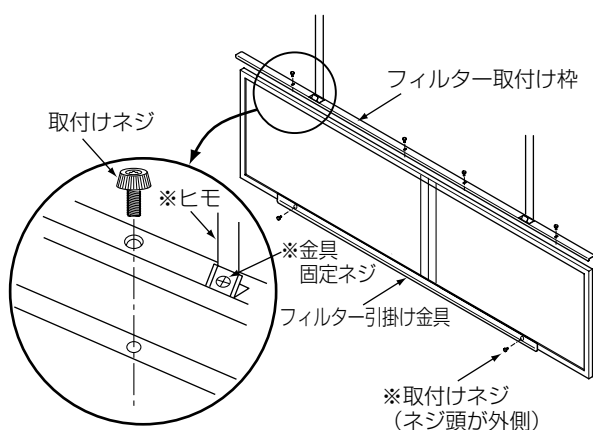



図3

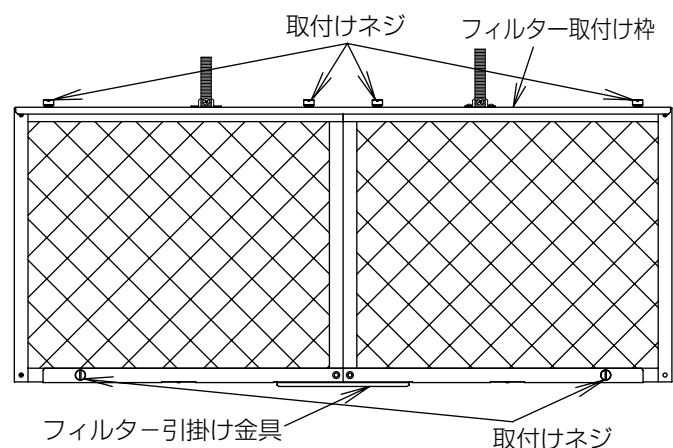



図4

## 3）フィルターの洗浄

フィルターは定期的に洗浄してください。
（使用環境にもよりますが、1回/週～月が目安です。）
※定期メンテナンスをおこたるとフィルターが目詰まりし、通過面が変形して昇降不良の原因となりますので注意してください。

また洗浄時もフィルターを押さえている網を変形させないでください。

取外したフィルターのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いしてください。
汚れがひどい場合は、ぬるま湯もしくは中性洗剤を混ぜた水に浸け、汚れを落としてください。
すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。
水洗いしたときは日陰でよく乾かしてください。
（直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。変形・変色することがあります。
※フィルターを変形させたり、フィルター枠、網等でケガをしないよう十分注意し取扱いください。

## 4）その他

オイルミスト雰囲気でご使用の場合、オイルパンに付着したオイルが硬化し、オイルドレン口を塞ぐおそれがありますので、使用状況に応じ点検および清掃を行ってください。

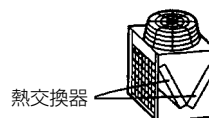
アフターサービス契約のおすすめ
※当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行うことができます。

## パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。

ベンジン・シンナーは使用しない。

## 熱交換器の洗浄

長時間エアコンを使用しますと、エアコンの熱交換器にホコリなどがつき、熱交換が悪くなって冷暖房能力が低下します。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

## ユニット内部品のお手入れ

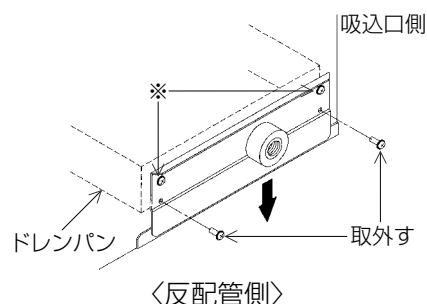
加湿器を組込んでご使用される場合、水質や使用条件によってはユニット内部の金属製部品が錆びることがありますので、加湿シーズン前後に確認し、錆がある場合はお買い上げの販売店もしくは保守点検契約を結んでいるサービス会社にご相談ください。

## 天吊室内ユニット熱交換器の洗浄

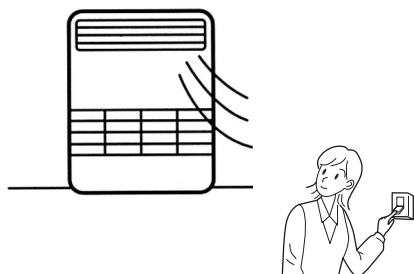
熱交換器にゴミ、ホコリ、オイル等が付着すると能力低下、水漏れの原因となりますので定期的に洗浄を行ってください。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

●熱交換器洗浄時、反ドレン配管側から洗浄液を排出することができます。
右図に示すネジを外し、排水口を下げることで容易に排水が行えます。

| お願い | ・※印部のネジは外さないでください。<br>水漏れの原因になります。<br>・洗浄後は必ず元に戻し、排水口に栓をしてください。<br>・ドレン配管は内側から塞いでください。 |
|---|---|

〈反配管側〉

# 長期間ご使用にならないとき

## 長期間ご使用にならないとき

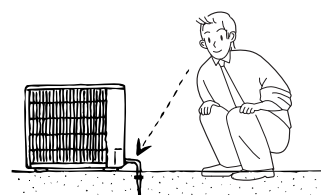
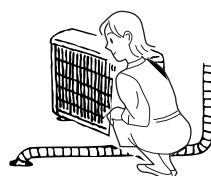
(1)4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。

(2)室内・室外ユニットの電源を切る。

## 再度使い始めるとき

■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

(1)フィルターを清掃して、取付ける。

(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。

(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。据付工事説明書を確認し対応してください。

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

(5)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

# 「故障かな？」と思ったら

## ●動かない！

| 症状 | 原因・処置 |
| --- | --- |
| リモコンの運転表示が点灯しない。 | ■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。<br>ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（◉）が点灯しません。 |
| リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。 | ■集中コントローラー等で、操作を制限されている場合に表示します。<br>■運転操作設定を遠方（外部）入力にしている場合に表示します |
| リモコンの運転表示が点灯するが、室外ユニットが運転しない。 | ■室内ユニット、もしくは室外ユニットへデマンド入力されている場合、室外ユニットが運転しません。 |

## ●勝手に動き出した！

| 症状 | 原因・処置 |
| --- | --- |
| 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。 | ■リモコンで入タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を開始します。<br>■外部入力信号にてON操作した場合に運転を開始します。<br>■集中コントローラー等で、操作した場合に運転を開始します。<br>■電源発停機能に設定している場合、室内ユニットの電源を入れると自動的に運転を開始します。<br>■停電自動復帰機能に設定している場合は、運転中に停電または電源を切ったとき電源を入れると、自動的に運転を開始します。<br>※電源発停機能および停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。 |

## ●勝手に停止した！

| 症状 | 原因・処置 |
| --- | --- |
| 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。 | ■リモコンで切タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。<br>■外部入力信号にてOFF操作した場合に運転を停止します。<br>■外部入力信号を重複して入力すると運転を停止します。 |

## ●運転が止まらない！

| 症状 | 原因・処置 |
| --- | --- |
| 停止ボタンを押したのに停止しない。 | ■暖房運転中に停止ボタンを押されますと、余熱排除のため約1分間、室内ファンが回ることがあります。 |

## ●よく冷えない、暖まらない！

| 症状 | 原因・処置 |
| --- | --- |
| よく冷えない。よく暖まらない。 | ■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。<br>■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。<br>■室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。 |
| 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ冷房（暖房）運転しない。 | ■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。<br>再運転をした場合は、冷房（暖房）運転するまで約3分間お待ちください。 |

## ●音がする！

| 症状 | 原因・処置 |
|---|---|
| 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。 | ■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。<br>※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。 |
| “ピシッ、ピシッ”という音がする。 | ■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。<br>※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。 |

## ●水蒸気・水（室内ユニット）が出る！

| 症状 | 原因・処置 |
|---|---|
| 室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。 | ■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。<br>■霜取運転時、冷気が下りてきて霜状に見えることがあります。 |
| 室外ユニットより水・水蒸気がでる。 | ■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。<br>■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。<br>■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気がでることがあります。 |

## ●暖房運転中、運転が止まる！

| 症状 | 原因・処置 |
|---|---|
| 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。 | ■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約7分（最大12分）ほどお待ちください。 |

## ●リモコン設定および表示について

| 症状 | 原因・処置 |
|---|---|
| リモコンのタイマー運転がセットできない。 | ■スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。 |
| リモコンに“PLEASE WAIT”の表示がでる。 | ■初期設定（約5分）を行っているためです。そのままお待ちください。停電からの復帰時や室内ユニットまたは室外ユニットの電源を入切した場合など表示します。 |
| リモコンにエラーコードが表示される。 | ■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。<br>※自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。 |
| ワイヤレスリモコンの表示が出ない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。 | ■乾電池が消耗しています。<br>乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。<br>※新しい乾電池でも表示のでない場合は、乾電池の入れ方（＋、－）を再度確認してください。 |
| ワイヤレスリモコンの受光部の運転表示灯が点滅する。 | ■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。<br>※エアコンの電源を切り、お買い上げの販売店に製品名を連絡してください。 |

# 保証とアフターサービス

■この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安 ［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

下記は、以下のご使用条件の場合です。

（1）頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）

（2）製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1．「点検周期」および「保全周期」の一覧

| 主要部品名 | 点検周期 | 保全周期［交換または修理］ | 主要部品名 | 点検周期 | 保全周期［交換または修理］ |
|---|---|---|---|---|---|
| 圧縮機 | 1年 | 20,000時間 | 膨張弁 | 1年 | 20,000時間 |
| モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など） | | 20,000時間 | バルブ（電磁弁、四方弁など） | | 20,000時間 |
| ベアリング | | 15,000時間 | センサー（サーミスター、圧力センサーなど） | | 5年 |
| 電子基板類 | | 25,000時間 | ドレンパン | | 8年 |
| 熱交換器 | | 5年 | アクティブフィルター（AF基板,RF基板,ACファン）注3 | | 4年 |
| 容器（アキュムレータなど） | | 20,000時間 | | | |

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。
注3．製品の運転時間が10時間/日、2500時間/年よりも長くなる場合のみ対象とします。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
●補修用部品の保有期間について
このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。
当社はこの基準により補修用部品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。
●電気部品に絶対に水（洗浄水等）をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。

■消耗部品の交換周期目安 ［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

表-2．「交換周期」の一覧

| 主要部品名 | 点検周期 | 交換周期 | 主要部品名 | 点検周期 | 交換周期 |
|---|---|---|---|---|---|
| PS-150フィルター | 1年 | 5年（注3） | ヒューズ | 1年 | 10年 |
| オイルフィルター | | 5年（注3） | クランクケースヒーター | | 8年 |
| 平滑コンデンサー | | 10年 | | | |

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
注3．使用環境、じんあい量などによって異なりますので早い時期での確認をお願いします。

■エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が完全に行われたことをサービスマンに確認してください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。
万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

●保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。**[保証期間経過後の修理は有償になります。]**
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。

●良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

●エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

# 移設・工事・点検について

■移設について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

**この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。**

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

1）この製品は、地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
2）本機には二酸化炭素25.8ton～64.4tonに相当するフロン類が使用されています。
3）上記2）の数値は、本機が接続されている室外機や接続室内機台数、配管長等により異なります。システム全体での数値は、室外機に表示されています。

この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。エアコンの取外し時は、フロン類の回収が必要です。
表示されている数値は、システム全体の最大冷媒量（システムの容量により変化）を能力当りに換算した冷媒量を元に算出しています。

■設置場所について

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

②次の場所への据付けは避けてください。
・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
・酢（酢酸）を多量に使用するところ
・海浜地区等塩分の多いところ
・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
・炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ
・粉や蒸気が多量に発生するところ
・油煙のたちこめるところ
・湿気の多い場所
・高周波加工機のあるところ
・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。

④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

## ■電気工事について

①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

## ■騒音にもご配慮を

①据付けにあたっては、エアコンの質量に十分耐え、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 仕　様

## 製品仕様表

**（標準仕様）**

50/60Hz

| 形名 | PCHV-P140DM-E | | PCHV-P224DM-E | | PCHVX-P224DM-E | | PCHV-P280DM-E | | PCHVX-P280DM-E | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット |
| 項目 | PCAV-P140DM-E | PUHV-P140DM-E | PCAV-P224DM-E | PUHV-P224DM-E | PCAV-P112DM-Ex2 | PUHV-P224DM-E | PCAV-P280DM-E | PUHV-P280DM-E | PCAV-P140DM-Ex2 | PUHV-P280DM-E |
| 電源 | 三相200V　50/60Hz | | | | | | | | | |
| 冷房能力（最大）(kW) | 12.5（14.0） | | 20.0（22.4） | | | | 25.0（28.0） | | | |
| 冷房消費電力(kW) | 3.83/3.87 | | 6.05/6.07 | | 6.01/6.01 | | 7.34/7.46 | | 7.18/7.26 | |
| 暖房能力（最大）(kW) | 14.0（16.0） | | 22.4（25.0） | | | | 28.0（31.5） | | | |
| 暖房消費電力(kW) | 3.83/3.87 | | 5.93/5.95 | | 5.80/5.80 | | 7.40/7.52 | | 7.20/7.28 | |
| 通年エネルギー消費効率 | 4.6 | | 4.4 | | 4.5 | | 4.7 | | 4.7 | |
| 区分名 | ag | | ah | | ah | | ah | | ah | |
| 外形寸法 高さ(mm) | 600 | 1350 | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 |
| 外形寸法 幅　(mm) | 1145 | 950 | 1695 | 920 | 1145 | 920 | 1695 | 920 | 1145 | 920 |
| 外形寸法 奥行(mm) | 900 | 330 | 900 | 740 | 900 | 740 | 900 | 740 | 900 | 740 |
| 風量　($m^3$/min) | 38 | 100 | 64 | 170 | 32 | 170 | 77 | 170 | 38 | 170 |
| 騒音値(dB) 冷房 | 46〈55〉 | 50 | 47〈55〉 | 56 | 42〈52〉 | 56 | 51〈59〉 | 58 | 46〈55〉 | 58 |
| 騒音値(dB) 暖房 | | 52 | | | | | | | | |
| 製品質量/台　(kg) | 108 | 122 | 160 | 170 | 108 | 170 | 160 | 179 | 108 | 179 |

| 形名 | PCHVX-P450DM-E | | PCHVD-P450DM-E | | PCHVX-P560DM-E | | PCHVD-P560DM-E | | PCHVT-P560DM-E | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット |
| 項目 | PCAV-P224DM-Ex2 | PUHV-P450DM-E | PCAV-P112DM-Ex4 | PUHV-P450DM-E | PCAV-P280DM-Ex2 | PUHV-P560DM-E | PCAV-P140DM-Ex4 | PUHV-P560DM-E | PCAV-P112DM-Ex5 | PUHV-P560DM-E |
| 電源 | 三相200V　50/60Hz | | | | | | | | | |
| 冷房能力（最大）(kW) | 40.0（45.0） | | | | 50.0（56.0） | | | | | |
| 暖房能力（最大）(kW) | 45.0（50.0） | | | | 56.0（63.0） | | | | | |
| 外形寸法 高さ(mm) | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 |
| 外形寸法 幅　(mm) | 1695 | 1750 | 1145 | 1750 | 1695 | 1750 | 1145 | 1750 | 1145 | 1750 |
| 外形寸法 奥行(mm) | 900 | 740 | 900 | 740 | 900 | 740 | 900 | 740 | 900 | 740 |
| 風量　($m^3$/min) | 64 | 180×2 | 32 | 180×2 | 77 | 200×2 | 38 | 200×2 | 32 | 200×2 |
| 騒音値(dB) 冷房/暖房 | 47〈55〉 | 61 | 42〈52〉 | 61 | 51〈59〉 | 65 | 46〈55〉 | 65 | 42〈52〉 | 65 |
| 製品質量/台　(kg) | 160 | 267 | 108 | 267 | 160 | 281 | 108 | 281 | 108 | 281 |

**（異電圧仕様）※受注対応**

50/60Hz

| 形名 | PCHV-P140VCM-E1 | | PCHV-P224VCM-E1 | | PCHVX-P224VCM-E1 | | PCHV-P280VCM-E1 | | PCHVX-P280VCM-E1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット |
| 項目 | PCAV-P140VDM-E | PUHV-P140VCM-E1 | PCAV-P224VDM-E | PUHV-P224VCM-E1 | PCAV-P112VDM-Ex2 | PUHV-P224VCM-E1 | PCAV-P280VDM-E | PUHV-P280VCM-E1 | PCAV-P140VDM-Ex2 | PUHV-P280VCM-E1 |
| 電源 | 三相380V, 400V, 415V　50Hz／400V, 415V, 440V　60Hz | | | | | | | | | |
| 冷房能力（最大）(kW) | 12.5（14.0） | | 20.0（22.4） | | | | 25.0（28.0） | | | |
| 冷房消費電力(kW) | 4.11/4.23 | | 6.39/6.65 | | 6.26/6.52 | | 7.82/8.05 | | 8.11/8.35 | |
| 暖房能力（最大）(kW) | 14.0（16.0） | | 22.4（25.0） | | | | 28.0（31.5） | | | |
| 暖房消費電力(kW) | 4.10/4.22 | | 6.35/6.61 | | 6.05/6.31 | | 8.14/8.37 | | 8.24/8.48 | |
| 通年エネルギー消費効率 | 4.4 | | 4.4 | | 4.5 | | 4.4 | | 4.4 | |
| 区分名 | ag | | ah | | ah | | ah | | ah | |
| 外形寸法 高さ(mm) | 600 | 1350 | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 |
| 外形寸法 幅　(mm) | 1145 | 950 | 1695 | 920 | 1145 | 920 | 1695 | 920 | 1145 | 920 |
| 外形寸法 奥行(mm) | 900 | 330 | 900 | 760 | 900 | 760 | 900 | 760 | 900 | 760 |
| 風量　($m^3$/min) | 38 | 100 | 64 | 185 | 32 | 185 | 77 | 185 | 38 | 185 |
| 騒音値(dB) 冷房 | 47〈56〉 | 50 | 47〈55〉 | 56 | 42〈52〉 | 56 | 51〈59〉 | 58 | 47〈56〉 | 58 |
| 騒音値(dB) 暖房 | | 52 | | | | | | | | |
| 製品質量/台　(kg) | 111 | 130 | 163 | 190 | 111 | 190 | 163 | 205 | 111 | 205 |

| 形名 | PCHVX-P450VCM-E1 | | PCHVD-P450VCM-E1 | | PCHVX-P560VCM-E1 | | PCHVD-P560VCM-E1 | | PCHVT-P560VCM-E1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット | 室内ユニット | 室外ユニット |
| 項目 | PCAV-P224VDM-Ex2 | PUHV-P450VCM-E1 | PCAV-P112VDM-Ex4 | PUHV-P450VCM-E1 | PCAV-P280VDM-Ex2 | PUHV-P560VCM-E1 | PCAV-P140VDM-Ex4 | PUHV-P560VCM-E1 | PCAV-P112VDM-Ex5 | PUHV-P560VCM-E1 |
| 電源 | 三相380V, 400V, 415V　50Hz／400V, 415V, 440V　60Hz | | | | | | | | | |
| 冷房能力（最大）(kW) | 40.0（45.0） | | | | 50.0（56.0） | | | | | |
| 暖房能力（最大）(kW) | 45.0（50.0） | | | | 56.0（63.0） | | | | | |
| 外形寸法 高さ(mm) | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 | 600 | 1650 |
| 外形寸法 幅　(mm) | 1695 | 1750 | 1145 | 1750 | 1695 | 1750 | 1145 | 1750 | 1145 | 1750 |
| 外形寸法 奥行(mm) | 900 | 760 | 900 | 760 | 900 | 760 | 900 | 760 | 900 | 760 |
| 風量　($m^3$/min) | 64 | 180×2 | 32 | 180×2 | 77 | 200×2 | 38 | 200×2 | 32 | 200×2 |
| 騒音値(dB) 冷房/暖房 | 47〈55〉 | 61 | 42〈52〉 | 61 | 51〈59〉 | 65 | 47〈56〉 | 65 | 42〈52〉 | 65 |
| 製品質量/台　(kg) | 163 | 305 | 111 | 305 | 163 | 320 | 111 | 320 | 111 | 320 |

注1. 冷房・暖房能力及び電気特性は、JIS B 8616：2006及びJRA4048：2006に準拠した値です。
注2. 能力欄の（　）内は最大値を示します。
注3. 上記仕様値は標準条件での値です。風量・機外静圧を変更しますと、能力・騒音値も変化します。
注4. 上表の騒音値は、A特性です。
注5. 外形寸法・風量・製品質量・室内ユニット騒音値は一台あたりの値を示します。
注6. 騒音値欄の〈　〉内値は別売プレナムチャンバー、別売フィルターを組込んだ場合の値です。
注7. 異電圧仕様の騒音値は電源電圧380V時の値です。

区分名

| 室内機の種類 | 冷房能力 | 区分名 |
|---|---|---|
| 4方向カセット形以外 | 10.0kW以上　20.0kW未満 | ag |
| | 20.0kW以上　28.0kW以下 | ah |

上表は、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示第213号（平成21年）による区分名を示す。

## 別売部品

●昇降フィルターボックス

・製品を末永くお使いいただくために必ず取付けください。

・別売部品のPS-150とオイルフィルターをお選びください。

●プレナムチャンバー

・風向調節が可能です。（4段階）

●フレキシブルダクト

・プレナムチャンバーと組合わせれば、ユニット下方への空調も可能です。

●円形ダクトフランジ

・多様な空調シーンに対応できます。

●その他

・遠方表示キットなど豊富な別売部品を用意しています。

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　　年　月　日～　年　月　日

| 管理番号 | |
|---|---|

| 施設所有者 | | | |
|---|---|---|---|
| 施設名称 | | 系統名 | |
| 施設所在地 | | 電話 | |
| 運転管理責任者 | | 電話 | |
| 点検事業者 会社名 | | 責任者 | |
| 点検事業者 所在地 | | 電話 | |

| 使用冷媒 | R410A | 初期充填量(kg) | | 点検周期 | 基準 | | 実績(月) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 設備製造者 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 設置年月日 | | | | |
| 使用機器 | 型式 | | 製品区分 | |
| | 製番 | | 設置方式 | 現地施工 |
| | 用途 | 空調用 | 検知装置 | |
| 冷媒量(kg) | 合計充填量 | 合計回収量 | 合計排出量 | 排出係数(%) |
| | | | | |

| 作業年月日 | 点検理由 | 充填量(kg) | 回収量(kg) | 監視・検知手段(最終) | センサー型式 | センサー感度 | 資格者名 | 資格者登録No. | ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo. | 確認者 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

**●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い**

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

**愛情点検**

**●長年ご使用のエアコンの点検を！**

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？

- ●運転音が異常に大きくなる。
- ●室内ユニットから水が漏れる。
- ●電源が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。

| お買い上げ店名 | 電話 |
|---|---|
| お買い上げ(据付)日 | 年　月　日 |

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT06617X02